

# 第15期スマートクルーズアカデミーレポート



平成30年11月8日～11日

<横浜＝上海 3泊4日at MSC スプレンディダ>

主催:大阪大学国際公共政策研究科赤井研究室

共同企画:全国クルーズ活性化会議

## クルーズ・アカデミーの概要

### 第15期 スマート・クルーズ・アカデミー (2018 年第2弾)

<横浜=上海

3泊4日 at MSC スプレンドィダ>

#### 【MSC スプレンドィダ】



- 乗客定員：3,247人
- 就航：2009年
- 総トン数：137,936トン
- 全長：333.30m
- 全幅：37.92m
- 巡航速度：18ノット

#### 【行程】

No.	日時	寄港地	No.	日時	寄港地
1日目	11/8(木)	横浜			
2日目	11/9(金)	終日クルーズ			
3日目	11/10(土)	終日クルーズ			
4日目	11/11(日)	上海			

#### スマートクルーズアカデミーの趣旨

##### ★学生の論理的思考向上の場

船上でしか味わえない、見渡す限り何も無く、それぞれが集中してやりたいことに打ち込める洋上の素晴らしい環境で、国際関係や地域発展についての社会課題について議論し、船内、寄港地にて国際感覚のより一段の向上を図る。

##### ★クルーズ振興に向けた新たなマーケットニーズ構築の場

大学生がクルーズを体験し、若い世代からの視点で、将来のクルーズマーケットを熟成する。体験を踏まえて、日本の港湾戦略、寄港地の分析、日本の観光のあり方を議論し、自由に事業・政策提案する。

## ■ INDEX

第1部<乗船前と乗船時の感想> .....	1
(1) 概要を知る前のクルーズへのイメージ .....	1
(2) 事前のクルーズ説明会他でクルーズの概要を知った! .....	4
(3) 申し込み後、乗船日前夜の感想 .....	7
(4) クルーズ客船が目の前に見えた!大きさに驚きの連続。期待感が膨ら む .....	10
(5) 乗船直後の感動 .....	14
第2部<クルーズ船> .....	18
(1) 避難訓練と安全対策への感想 .....	18
(2) 船内施設(ハード面)の感想(船内施設・施設のレイアウトなど) .....	21
(3) 船内サービス(ソフト)の感想①「レストラン・カフェ・バーでのメニ ューについて」, ②「レストラン・カフェ・バーでのサービスについて」, ③「キャビン清掃、ホテルレセプションについて」, ④「カジノについ て」) .....	24
(4) 船内SHOW, エンターテインメントの感想(船内鑑賞イベント全般、プ ロダクションショー) .....	30
(5) 船内体験施設・内容の感想(ジム・ゲームなど)・体験型イベント(ダ ンスPARTY・ビンゴなど)) .....	33
第3部 <各港での対応及び魅力> .....	38
(1) 乗船港(横浜)での感想(港・ターミナルの施設評価、乗船時対応の感 想、観光地としての魅力など) .....	38

(2) 下船港(上海)での感想(港・ターミナルの施設評価、乗船時対応の感想、観光地としての魅力など) .....	41
第4部 <船上講義：スマートクルーズアカデミー> .....	46
(1) 学生提言の感想(各班の発表を聞いての感想) .....	46
(2) クルーズ活性化会議プレゼン・パネル討論の感想 .....	49
(3) スマートクルーズアカデミー内容全般について(学生提言大会、自治体との交流会、フォーマルナイトなど) についての感想と今後の要望 ..	53
第5部 <地域活性化・クルーズ振興> .....	58
(1) 地域活性化のためのクルーズ客船誘致と港湾の役割(港湾関係者の発表や船内での関係者との議論を踏まえて)についての感想(国・自治体政策のあり方など) .....	58
(2) クルーズの社会的意義とクルーズ振興の在り方(ニーズの掘り起こしに向けての若い世代からの視点) .....	62
(3) クルーズ全般への感想：将来に向けての感想、上記の項目に該当しなかった部分への感想など .....	67

<注>

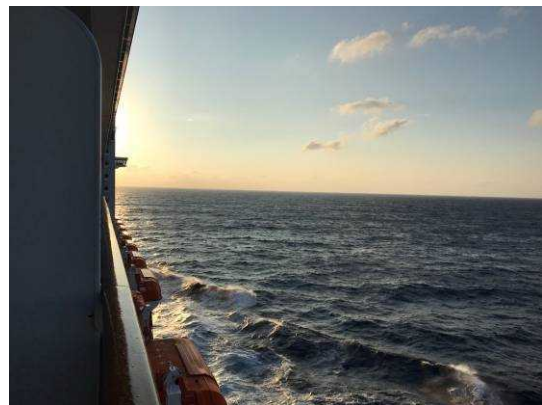
各項における本文冒頭の番号は、番号ごと同一の学生の意見・感想となります。また、学生の属性は以下のとおりとなっております。

No.	属性	備考
1	東京工業大学修士2年男性	クルーズ3回目：第9期・第12期ダイヤモンドプリンセス
2	東京工業大学修士1年男性	クルーズ2回目：第12期ダイヤモンドプリンセス
3	東京工業大学修士1年女性	クルーズ2回目：第12期ダイヤモンドプリンセス
4	東京工業大学修士1年男性	クルーズ2回目：第12期ダイヤモンドプリンセス
5	東京工業大学修士1年男性	クルーズ2回目：第12期ダイヤモンドプリンセス
6	東京工業大学修士1年男性	初クルーズ
7	東京工業大学修士1年男性	クルーズ2回目：第12期ダイヤモンドプリンセス
8	東京工業大学4年男性	初クルーズ
9	東京工業大学4年男性	留学生 初クルーズ
10	椙山女学園大学4年女性	初クルーズ
11	椙山女学園大学4年女性	初クルーズ
12	福知山公立大学3年男性	初クルーズ
13	創価大学4年男性	初クルーズ
14	創価大学3年女性	留学生 初クルーズ
15	創価大学3年男性	初クルーズ
16	創価大学4年男性	初クルーズ
17	創価大学3年女性	留学生 初クルーズ
18	創価大学5年男性	クルーズ2回目：第12期コスタネオロマンチカ
19	札幌大学4年男性	初クルーズ
20	札幌大学4年男性	初クルーズ
21	甲南大学3年女性	初クルーズ
22	甲南大学3年女性	初クルーズ
23	甲南大学3年女性	初クルーズ
24	甲南大学3年女性	初クルーズ
25	甲南大学4年男性	初クルーズ
26	甲南大学4年女性	初クルーズ
27	甲南大学4年男性	初クルーズ

## 第1部 <乗船前と乗船時の感想>

### (1) 概要を知る前のクルーズへのイメージ

1. 乗船経験あり
2. 乗船経験あり
3. 乗船経験あり
4. 乗船経験あり
5. 乗船経験あり
6. 他国の方に囲まれての乗船となるため、異国への観光に近い感覚をイメージしていた。また、豪華なイメージが強く、リゾートバカンスに近い印象も持っていました。ひたすらゆっくりとした時間を過ごすことが出来る印象だった。
7. 乗船経験あり
8. 私はクルーズに乗ったことが今までで一度もなく、あるブログでの「クルーズ体験日記」なるものを見たことくらいではあったのだが、非日常感を味わえそうでとても魅力的に思えた。唯一の不安点はコミュニケーションがきちんととれるかどうかである。
9. I decided to participate in the cruise ship because I thought it was a good opportunity to know more Japanese students from other universities, and also to trip with people from my lab. I did not know much about what the cruise ship before starting the trip, but I was pleasantly surprised to see it was so fun and organized.
10. 一人で行くには勇気がなく、また見せていただいた写真も小さかったため想像がつきにくかった。海の上での学習はどのようなものか興味はあったが、船酔いしたり、タイタニックのような最悪の事態になるのではないかととても不安ではあった。親にも大丈夫だと言われたが正直怖かった。
11. クルーズに乗せていただけるかもしれない。と聞いて一番始めは素直に嬉しいなと感じた。しかし、クルーズ船は“高い”というイメージを持っていたことや、時間と金銭面に比較的余裕がある年配の方々が乗船されるなかで、自分が浮いた存在にならないかな。と少し不安であった。
12. 3泊4日も海の上において飽きそうであり、することがなくなるのではないか。また、



- 外国語が話せないが生きていけるだろうか、日本に帰ってこれるだろうか、今調べているクルーズ船の知識を活用できて、自分で乗船することで研究に生かすことができ、もっと知識も増えていい経験になるのではないだろうかと考えていた。
13. クルーズと聞いて、自分自身海外には何回か行ったことがありましたが、船、ましてやクルーズということで自分の頭の中では想像できないものがある。去年の先輩方がクルーズに乗っていたことを聞いて自分も申し込んでみようかと思うようになった。ゼミで行くことにもとても楽しみであった。
  14. 私はタイから来ましたので、タイにはクルーズが有名ではありません。全然クルーズのイメージができませんでした。調べてきたら、やることない、インターネットがない、若者が参加しないという意見ばかりタイのサイトに残っています。やはり、人気がないものだとわかってきました。しかし、創価大学の安武先生のゼミの学生としてこれはいい機会だと自分は思いました。それで、参加することになりました。
  15. そもそも海外にも行ったことがないにもかかわらず、船で行くことができると知り、すぐにでも行きたいと思う。初めてのクルーズであったため、少し不安もあるが、ゼミの皆と一緒に楽しめると思う。どんな船に乗るのかも知らないのに、ドキドキする。初海外が船で行けるという体験はこの先ないと思うので、申し込む前から胸が高鳴っている。
  16. クルーズのイメージは富裕層の方々が多くクルーズを利用し、自分には程遠いものだとのイメージを持っていた。また自分のイメージ内でのクルーズは映画のタイタニックとしての色が濃くあり、これにより優雅、豪華、上質といったイメージである。
  17. The first day when I applied to this cruise academy I never thought this can be so great and the cruise is really amazing. No matter the renovation and the services in this cruise gave me a really great experience in my university life. I really thanks for the organizer and the cruise which provided this tour academy for us.
  18. クルーズに対する元々のイメージは、短くとも数週間に渡って世界各地を周遊するものだと思っていたので、今回のような短期間の参加が可能だと知って驚く。周りでクルーズ船に乗船したことのある知り合いがいなかっただけに、「これはとても貴重な経験が出来る」と思ったし、話のネタにもなりそうだなと思い、参加したい気持ちは初めから強かった。
  19. 富裕層の方たちが楽しむとても華やかなイメージを持っていて、学生が気軽に参加できるような体験ではないというイメージがあった。映画タイタニックを見ていたので若干怖いイメージも少なからずあった。
  20. 旅行の中での一つの移動手段であり、目的地にゆっくり向かいストレスなく、移

動も旅行として楽しみたい人が利用するというイメージがあった。加えて、ポスターでよく見る世界一周クルーズ船の旅というイメージもあった。

21. クルーズのお話を頂いた際、断るなどといった考えは全くなかった。一生に一度、体験できるかできないかわからない事にお誘いして頂いたのに断るという選択肢はなかった。概要を知る前はとにかく広く、施設が整っており、全てが豪華であるというイメージだった。
22. クルーズと言えば、タイタニックのイメージと、とにかくドレスコードが厳しそうでしょっちゅう衣装替えをするイメージばかりをもっていました。また、船の上で一体毎日何をして過ごすのだろう、という疑問もたくさんありました。
23. 私の周りで乗ったことがある人がいなかったりテレビやインターネットでもあまり情報がなかったので、とても豪華で手の届かない存在だなと思っていました。また、テレビでクルーズ船事故のニュースを観たことがあったので事故起きたり、天候が悪かったら危ないのではないのかと不安な気持ちがありました。
24. 外国人ばかりだろうし、テレビに出てくるようながセレブが乗っているだろう。テレビでクルーズの特集を見たが、やはり豪華でキラキラしていた。私のような世代はいないであろうし、まず日本人がいても老後の生活を優雅に楽しんでいる人たちしかいないような気がする。クルーズ船に自分たちのような学生が乗ってもいいのだろうか。
25. クルーズ船に乗った経験が無かったため、長時間移動・船酔い等で少なからず抵抗があり参加するかどうか悩んでいる。しかし何事も経験してみなければ分からないし、こんな経験二度とないかも知れないと思い参加を決める。日本と海外をつなぐ架け橋として、飛行機以外の手段、かつそれをあえて選んでもらえるようなおもてなしを体感してみたい気持ちが決め手だ。
26. 「クルーズ」と聞くと長期での休暇取得が不可欠となるため、定年後、年配の方々のための理想的なのんびりとした余暇の過ごし方、贅沢・高級というイメージを強く持っていたのである。そのため、大学生のような若い世代が楽しめるような場所なのかどうか、また、移動はしているもののずっと海の景色を見ながら船内で過ごす4日間は間延びしてしまうのではないかと思っているのである。
27. MSCについてインターネットで調べた写真や情報をもとにイメージを膨らましていた。「豪華客船」という名前におののいていたので、高所得な方々が優雅に乗るというイメージが強く、自分が乗るという実感がなかった。船内での過ごし方についても、写真や情報をもとに想像できる豪華な過ごし方について知らなかつ





たので、船内でどういう時間の使い方をするのかは非常に疑問であったとともに、想像するすべもなかった。ついでには、乗船のイメージについて想像することはほとんどせず、コンセントやシャワー事情について軽く先輩に相談した程度であった。また、日程が長かったので、他の予定をどう調整するかということで難儀した。船内や洋上ではインターネットは愚か、一人の時間をどう捻出するかについて乗船前に悩んでおり、それまでに済ませなければいけない仕事や課題を配慮するほうに集中していた。

## (2) 事前のクルーズ説明会他でクルーズの概要を知った！

1. 乗船経験あり
2. 乗船経験あり
3. 乗船経験あり 概要を知る前の比較としては、寄港地がないクルージングであることがわかり、船の中でどう過ごすかわくわくしていました。そのため船の中の設備を調べました。また上海で降りることがわかり、未体験の場所であったことからガイドブックを借りたり、中国というネットの規制の厳しい国でなんとか動けるように中国のアプリを入れたりSIMカードを買ったりしました。
4. 乗船経験あり 前はダイヤモンドプリンセスに乗ったので基本的にはそれと比べてどうなんだろうと思っていた。カジノは前回同様あったのでとても期待していた一方で、拙い英語で、はたして乗り切れるのかという不満もあった。
5. 乗船経験あり
6. リアルな課題に取り組みながら自治体の方から直接フィードバックをいただくと聞いていた為、非常に実務的な経験ができると感じていた。また、電波が入らないという点に非常に不安を感じていた。(乗船後は電波のことなど考える暇もないほどコンテンツが充実していた。)
7. 乗船経験あり
8. 具体的なイメージはなかったが、16階ほどもあるとは想像以上に大きいクルーズ船であるようだ。ここまで大きいということはクルーズのレベルも高く、サービス面にもかなり期待できそうである。カジノもあるそうなので、一発当ててやろうと思う。時期的なものもあるのだろうが、日数も少なくどこの港にも寄らないとは少し予想外である。
9. I did not expect the ship to be so big and to be luxurious, so that was a very nice surprise. Whatsmore, the presentations were so well structured and each team had done such a good work, that everyone surely learned by hearing all of them. I was also surprised that not only professors were attending, but also guests including a consultant and people working on different ports. That was something helpful, because that way I could understand that

different ports face many different difficulties; for example, the Yokohama port is sometimes mentioned to tourists as "Tokyo", and the Yokohama city doesn't profit so much from the tourists because they go directly to Tokyo. Also, the logistics of organizing so many people prove to be difficult.

10. クルーズの概要は海の閉ざされた空間での勉強であったが、課題の内容も知らなかったため、他大学に劣れをとるのではないかととても不安になった。しかし、ジャグジーやバー、カジノなどのいろいろな施設があると聞いてとても楽しみになった。船の中で日常生活とほぼ同じことをできることにとても興味がわいた。
11. スクールアカデミーのクループLINEに送られてきた資料をみて自分の想像を越える豪華客船であることから、手放しで喜んでいない。というのも、写真写りはいいが実際に乗船したときに事前に知らされた概要と現実とのギャップにガッカリするかもしれないと感じるのである。それくらいに私にとって衝撃的な内容の概要である。
12. 福知山公立大学からの学生が一人であったため、不安と心配しかなかった。一気にいろいろな港湾の関係者の方々の話が聞けて、他大学の学生と交流したことがなかった為、交流できることが楽しみであった。また、恥ずかしくないように今までのクルーズの勉強をおさらいして本番に挑もうと考えていた。
13. 1つは、クルーズについてほとんど無智であったため、何があるのか、何をするのかということを知ったときはとても乗りたいという気持ちが強くなった。また、他大学生と協力してプレゼンを作り、発表するといったことをすると聞き、短い時間でどのように準備をするかということが不安であったが、1つの物を仕上げ、発表するといったことに関してはとても興味深く感じた。
14. 私はインターネット中毒ではないから、クルーズの中にいるときインターネットがなくても大丈夫です。そこは問題がありませんでした。そして、クルーズ内は綺麗、景色も綺麗でした。いつも飛行機でどっかへいく私は始めてクルーズを参加して、海の絶景を見るだけで幸せでした。多くのタイ人を参加してほしいほど良いだと思います。
15. 船の中でプレゼンテーションをすると知り、ますます楽しみに感じる。ただ、様々な大学の方たちと会うことなく、プレゼンテーションの準備をどのように進めていくのかと思う。また、自治体の方やゲストの方も招いてのクルーズと知り、単に船に乗って上海に行くだけではないとわかる。そして、まだ見ぬグループメンバーや他の学生の方々と早く会って仲良くなりたいと思う。



16. アカデミッククルーズのについての概要を知り、自分でも豪華客船に乗船する機会があるのだととても嬉しく感じた。また概要を知る事により自分が想像していたクルーズのイメージに加え、イベントが多く存在する事などエンターテイメント性がとてもあるのだと感じた。
17. The place which provided buffet can be more places, the water temperature in swimming pool outdoor can use warm water instead of cold water, the casino games can be more variety. Except of these I cannot find anything that are not satisfying.
18. 基本的に船の中で全てのことが完結するので、乗船前に船の内部の写真や乗船記を載せたブログをネットで調べた。まさに「海の上のリゾートホテル」と言うのに相応しい位何もかも揃っていて、想定したよりもスケールの大きい船なのだと感じた。船酔いを心配した以外は、期待の気持ちでいっぱいだ。
19. クルーズ船の中にカジノやプールなど遊ぶスペースがあるということを知り、3日間船内にいても飽きることはなさそうだと感じた。自分の思っていたイメージよりもずっとゴージャスだった。3日間で回り切れるか心配であった。
20. 自分の思っていたイメージよりもずっと豪華だった。カジュアル船と聞いていたのにフォーマルナイトやカジノやショーなど華やかなイベントや設備がたくさんあるのに驚いた。3日間で回り切れるか心配になったくらいだ。
21. 概要を知る前から、わくわくはしていたが、概要を知った後はそれ以上にわくわく、ドキドキしていた。概要を知る前と概要を知った後ではクルーズへのイメージの変化はなかったが、想像以上に規模や施設面で大きいと感じた。
22. まさか、ジムがあってプールが室内と外に二つもあり、カジノがあり、毎日ショーが行われていて、日中もダンスイベントなどがあり、毎日コースのディナーを食べることが出来ると思っていなかったもので、本当に楽しみになりました。
23. 概要を知ったとき、自分が思っていたよりもはるかに豪華で、プールが2つもあったり劇場やカジノなどあることを知り、不安な気持ちよりも早くクルーズに乗ってみたいという気持ちになりました。部屋も普通のホテルのような内装で本当に船の中なのか信じられませんでした。クルーズで過ごす間にやりたいことを早めに決めていこうと思いました。
24. やはりとても豪華で、設備も充実している。カジノやプール、ジムがついた船な



ど想像もつかない。初めてだから緊張する。持ち物も普段の旅行とは異なるし、クルーズ船はお金持ちが乗るというイメージだから何を着ればいいのかもわからない。貴重な経験になることは間違いないので満喫したい。

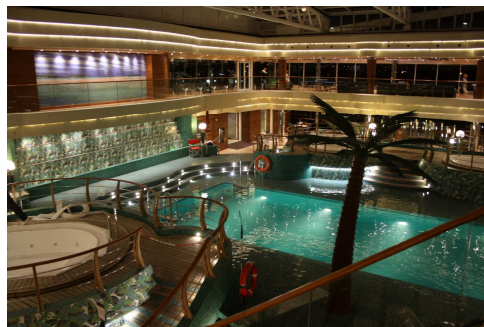
25. まずここまで大きいクルーズ船が存在していることを初めて知り驚くとともに、このようなクルーズ船が他にも多々あることをネットで調べていくうちに知っていき、改めてクルーズ船に興味を持つ。中で行われている予想もつかなかったアクティビティを知って、小さい頃にみた映画「タイタニック」を思い出す。
26. 食事や移動費が含まれていることから、場所によっては普通の飛行機や新幹線で旅行するよりもお得に各地を周れることも可能なため、海外では大学生の卒業旅行にクルーズを利用するが一般的であるとの話を聞いたのである。それからはクルーズが上品な特定層の方々だけでなく、若年層の向けのカジュアルな面もあるだと知り、一気にイメージが変わってきたのである。
27. 船内でプレゼンテーションが実施されるのを知って以降、会ったことのないメンバーで一つにプレゼンテーションを作成することは驚いた。担当港が知っている場所だったので、少しは安心して課題に取り組むことが出来た。クルージングを活性化するためのこの企画であった、ということは下船後に実感し、乗船前までに「クルージング活性化」ということを意識したことはなかった。課題についても、乗船中にその意味を少しずつ理解し、乗船前にもう少し「クルージング活性化」という目的を十分に把握しておきたかった。

### (3) 申し込み後、乗船日前夜の感想

1. チケットに書いてあるバルコニースタンダードの文字に初めてのバルコニー付きの部屋なのかと心が躍っていた。朝見える景色はどのような感じなのだろうかと思像を膨らませていた。今回で三度目の乗船となるがどのように行動しようかなどHPの客船案内を見ながら考えていた。
2. 今年はクルーズ2回目で最高学年ということもあり、東工大の後輩や他大の初めてクルーズを経験する人達にクルーズの楽しさを教えられたらいいなと思っていました。特に、ショーやバーでのイベントなどに積極的に誘ってほしいと思っていました。
3. クルーズは2回目でありなんとなくのイメージは掴めていたため不安感はなかったです。パッキングも2時間程度で終わりました。またクルーズができるという期待感でわくわくしておりました。ただ、上海に着いてからのプランを何1つ立てていなかったため回る場所や交通手段を急いで確認しました。
4. クルーズ内でグループプレゼンテーションをすることになっていて、その準備に追われていたため、期待とかを考える余裕がなかった。1回目のクルーズでは途中で体調を崩してしまったので、今回はそういうことがないようにして、できるだ

け楽しみたいと思った。

5. いよいよ明日からクルーズ船に乗れるのだと思うと、2回目であっても非常にわくわくした気持ちである。去年初めてクルーズに乗ったときには行かなかったカジノやプールなど様々な遊びを満喫したいなと思っている。
6. ひたすら船酔いが心配であった。サーフィンをやっておりますが波待ちというボードの上でいい波を待つという作業ですら非常に波酔いしてしまう為、船の上で4日間もの時間を過ごすことに不安が大きかった。その為、酔い止めを大量に購入して船に乗ろうと心に決めていた。
7. 前回と違うメンバー、前回と違う船に期待を抱く。また、前回とスケジュールが異なり寄港せず、目的地までずっと海の上にいるので、船内のイベントやアトラクションを存分に楽しめると思い、ワクワクする。
8. クルーズの中で何をするかということしか考えていなかったが、よくよく考えたら交流のない他大学の生徒たちとの交流もあるのだった。課題でライン上では話をしていたが、その人たちと仲良くできるのか急に不安になってきた。しかしそれ以上に初のクルーズ船への期待が大きく、とりあえず悔いなく楽しむことだけを考えようと思う。
9. The boarding was smooth. The bus trip to the ship was relatively quick and, after getting out of the bus, the security check was smooth to get through. We were received with a cold drink, which was nice. Getting to the room and finding the bags already there was convenient, and seeing a room with a satisfying view to the sea was a good detail.
10. 乗船前夜はクルーズの課題であった寄港のパワーポイントを作るのでいっぱいだったため、課題が終わるか不安でしかなかった。また、Wi-Fiが有料と聞いていたため、いかなる場合も連絡が取れない不安感もとても強かった。しかし同時に未体験のことをすることにとっても楽しみであった。
11. ワクワクはもちろんあるし、他大学の学生と触れ合えることを楽しみにしながらパッキングをしている。私はクルーズ船に初めて乗船するので、どの程度揺れを感じるのが、どれくらいの乗船客がいるのか、海上に孤立することになるが、閉塞感を感じないであろうか。と悶々と考えていた。
12. 他大学の学生で一人で参加の学生がいなかったため、独りぼっちが確定した。だから、これはなんとかなるし、自分の学びとして絶対にいい経験になると自分に言い聞かせた。クルーズ船に乗船することにワクワクすることがほとんどなく、一人で京都から横浜港へ行き、合流できるか、忘れ物はないか、等の不安でいっ



ばいっぱいであった。

13. 乗船前日は、クルーズの中で様々なエンターテインメントやカジノ等の短い生活に胸を高鳴らせていた。何をやるのもほとんどが初めてであったため、不安でもあり、とても楽しみにしていた。また、プレゼンの資料など必要な物の忘れ物がないかというチェックを何回もしていた。少し興奮していたため、
14. クルーズ中は海の中ですので、日本より寒いかなと心配しながら荷物を準備しました。乗船日前も授業があります。そして、宿題をやらないといけないので遅くまで起きて、寝る時間も遅かったから、クルーズの日は少し疲れました。
15. 海外自体行くのが初めてで、その上、船に乗って行くので、不安もある。カジノやプール、ディスコがあると聞いていたので、気分が高揚している。また、ゼミの同期は自分を入れて3人なので、もっと今まで以上に絆を深めて仲良くなりたいたいと思う。無事故でクルーズに参加した人皆が楽しかったと言えるクルーズになればいいと思う。
16. 乗船日前夜の気持ちとしてはとうとうあの豪華客船に乗船できるんだという期待が高まる心境である。また地方自治体の方や他大学の方と交流できるという新鮮かつ様々なことを学ぶことが出来る機会に対して最大限吸収し切ろうとの意気込みで一杯である。
17. Before the night I was busy to pack my stuff and I felt very excited about the next day trip. I never expected this cruise is so huge and so high-class compare to other cruise.
18. 前日は意外とクルーズに行く実感が持てず、荷造りで忙しくワクワク感はそのままで無い。ただ、今までの同じくらいのスパンの旅行と違い、私服に加えスーツ、水着、運動着など衣服を持っていく量が多かったことが、未知の経験を出来る予感を与えた。そうして寝る前になってから少しドキドキ感が増してきた。
19. 期待と不安で胸がいっぱいであった、初めてのクルーズ船で、船内でどんな楽しい事や出会いがあるかなど考えれば考えるほど眠りにつくのが遅くなっていった最終的にほとんど眠れなかった。忘れ物尾などないか何回も確認していた。
20. 多少の不安はあったが楽しみでしよがなかつた。初めてのクルーズ船で、船内でどんな楽しい事や出会いがあるかなど考えれば考えるほど眠りにつくのが遅くなっていった最終的にほとんど眠れなかった。絶対にパスポートだけは忘れないと何度も確認した。
21. 初めてということもあり、とてもわくわくしていた。だが、同時に緊張と不安もあった。何もかも初めての中、過ごせるのか、他大学や自治体の方々とうまく馴染めるのかと不安だった。また、英語力の面も不安だった。上手く会話ができるのか、もし問題が起きたらなども不安だった。
22. おしゃれ着はこれで大丈夫なのかどうかであったり、なにせクルーズに乗ること

が初めてだったので、不安もたくさんありましたが、それよりもはるかに、期待とワクワク感でいっぱいでした。また、前日になってもクルーズ船に乗れる！という実感がなくらい楽しみでした。

23. 当日の午前中がテストであったのであまり準備ができておらず、忘れ物がないか、乗船券などの不備がないか不安であったのと、申し込みも先生方がほとんどのことを事前にしてくださっていたので、前夜でも全然明日から自分がクルーズに乗るという実感がなく、ただクルーズ船で何か経験できたらいいなという期待がありました。
24. 初めてのクルーズ船ということでワクワクより不安のほうが大きい。パーティーやプール、ジムのための荷物も用意するため大荷物となった。飛行機旅と違い船旅は忘れ物があってもすぐに買いに行けないので、何度も荷物確認を行った。資料を確認していると記載ミスが見つかり、荷物の不安より乗船できるかの不安のほうが大きい。
25. クルーズ船に乗ったことがないので、何が必要で何を持って行った方がいいのかさっぱり分からない。そんな中で先生方が作成して頂いたパンフレットが本当に役に立ち、荷物も少なすぎず、逆に多く用意することもなく準備できている。英語のプレゼンが控えているので、不安もあるがワクワク楽しみな気持ちの方が大きい。
26. 自分が船酔いする体質だとどうしようと不安に思っているのである。パッキング作業をしている時も、どのような服装が適切なのかな、この服はカジュアルすぎるかなとドレスコードに悩みながら準備したのである。しかし普段よりも着飾った服装でオシャレができるのもクルーズ船の魅力だなと思うのである。
27. どういう服装で臨めばよいのかを最後まで悩み、その衣服の準備と課題の調整に追われていた。素直に乗船の楽しみを感じ取るよりも、服・荷物の調整とスケジュールの調整をせわしなく行なっていたため、もう少しMSC・クルージングについての予備知識を仕入れておけば良かったと下船後に感じた。素直に豪華客船に乗ることは楽しみであったがそれは余りにも漠然としていて、具体的な想像が出来ないままであった。

#### (4) クルーズ客船が目の前に見えた！大きさに驚きの連続。期待感が膨らむ

1. 初めて大さん橋からではなく大黒ふ頭に停泊していた船であったので、今まで以上に大きさを感じた。船のそのものの大きさがベイブリッジを通れない規模であることもありひたすらに大きいなという思いであった。船というよりか大きなビルが動いているといった思いであった。
2. 前回ダイヤモンドプリンセス号が大黒ふ頭に泊まっているのを赤レンガ側から見たので、今回も赤レンガ側から大黒ふ頭に向かいましたが、MSC Splendidaは大黒ふ頭

に泊まっていたため見れず、とても残念でした。大黒ふ頭で乗船すると知らなかったのが、大桟橋に船が見えなかったとき、乗船時間を間違えたかとビックリしました。

- クルーズの概要を教えてもらった時から大きい船だということはわかってはいたのですが、昨年乗ったダイヤモンド・プリンセスのイメージが頭の中に残っていたので、比較してあまりの大きさに驚きました。これはレインボーブリッジを通過できないわけだなと納得したのを覚えています。

- クルーズ船をみた時、とてもでかいなあというのが正直な感想だった。ダイヤモンドプリンセスと比べてもとてもでかく、豪華な装飾で少し萎縮してしまった。乗船の際にパスポートが一時回収されるのは、少し戸惑いがあったものの基本的にはスムーズで特に不満はなかった。



- 大桟橋ターミナルに着いたときにはクルーズ船が見えなかったのでどこに停められているのだろうと思ったら、シャトルバスで船の乗り場まで移動していくということを聞いてびっくりしている。移動中にバスの中からクルーズ船が見えて、その大きさに興奮している。
- あまりの大きさに非常に驚いた。その時の感想としては「団地群だ」と思った。(大きさの話で豪華さは全く別物だが)、もはや一つの町といった規模感を受けた。ひたすら写真を撮るたくさん撮るほど驚いていた。
- 前回見たのでもう驚く事は無いだろうと思っていたのだが、しっかり驚く。前回より大きな船で、しかも前回より短い期間なので船内のイベントを楽しめるかいい意味で不安になる。早く船内スケジュールを確認したくなる。
- 集合場所の屋上に行ってみたが、遠くに泊まっていたのでいまいち大きさが分からなかったが、近くに来てみたらやはり想像以上の大きさである。しかし正直に言うと、もう少し外見的に派手さがあると思っていた点では少しギャップがある。
- Like said before, I found the cruise ship very big. It was my first time boarding a cruise ship, and it was also the biggest ship I tripped with. 16 floors are very high for a ship; at first sight, the ship seems like a small building.
- 初めてクルーズに乗ったため、こんなにも大きな船だとは思わなかった。どれぐらいの乗船客がいるのか気になったし、船のきれいさにも驚いた。クルーズに乗る前にタイタニックを見たため、すごくワクワクした。そして、船の中はどのよ



うな内装になっているのか、中にいる人たちは外国人ばかりなのか、日本語は一切話せないのかと先のことばかり不安になった。

11. 大企業がもつ自社ビルを横に倒したような存在感をもつ船だと思った。横浜港ターミナルでみた他のクルーズ船も大きいなと思っていたが、そんな私の常識を軽々と越える大きさであった。なんというか、“なんだこれ、これはクルーズ船の括りにしていいのかな？”と感じていた。
12. コスタの倍ぐらいでオペーションオブザシーズよりちょっと小さいぐらいであった。横浜港はめったに来ることないし、これに乗船するのは誇れるのではないか。このMSCとベイブリッジはインスタ映えである。それよりも、話せる人がいない。もう、クルーズを楽しもう。また、スマホが使えないので本気で何をしたいのかわからず不安である。と思っていた。
13. 飛行機は何度も乗っていたために、飛行機ぐらいだろうと想像していて、いざ、見てみると想像を超えるほどの大きさ、そして自分が初めて見る大きさのものである。また、自分があの船、クルーズに乗るんだと思うととてもいい経験をさせてもらえることなんだと実感している。そして、とても胸の高鳴りお覚えている。
14. クルーズを見たことなかった私は最初に間違えて、その辺にあるただの一つの船をクルーズだと思ってしまったのです。小さいだと思いましたが、友達がそれはクルーズじゃないと言われて、本物のクルーズを見てビックリするほど大きいです。
15. 想像以上のクルーズ船の規模に圧倒される。一体何人の人がこの船に乗ることができ、どのようなクルーが働いているのかが気になる。人生でこんな大きな船を見たことがない。この船に乗ってこれから上海に向かうのは楽しみである。家よりも大きなこの船で海の上を揺られながら進んでいくことに胸が熱くなる。まさに感動である。
16. クルーズ船を目の前にした時の感想は圧巻の一言である。クルーズ船の大きさや出港する際に要する港の準備の規模の大きさから壮大なイベントである事を体感した。今回MSC SPLENDIDAに乗船する以前に中規模の客船に乗船した事があったが、その時とはスケールが桁違いである。
17. The Yokohama Port is really beautiful especially the night view with the bridge and the sea view. The queue for boarding was not long and very efficient. Same with the procedure when we taking flight, but I felt confused about the passport keeping services.
18. 前述の通り、船のスケールがとても大きいことは知っていたが、実際の現物を見てみるとまさに「ホテルが海に浮かんでいる」ようだ。自分は泳ぐのが苦手なので、海に浮かんでいることが余計に信じがたく思われる。このような大型の船を水上

に浮かべ航行させることを可能にした科学の力に凄さを感じる。

19. 初めてクルーズ船を目の前にしたときイメージの数倍以上のスケール感がありとても驚いた。巨大な建造物があるかのような迫力とインパクトは二度と忘れないだろう。大きいなんて言葉では表せられないほどの存在感とゴージャスな外観に目を奪われた。



20. ある程度は大きなものを想像していたがいざクルーズ船を目の前にしたときイメージの数倍以上のスケール感がありとても驚いた。大きすぎて橋の下を通れないためべつの埠頭にありますが聞いた時はどんなものかと思ったがここまでとは思わなかった。目の前にマンションが浮かんでいるかと思った。
21. 以前に関西の方でダイヤモンドプリンセス？を拝見した事があるが、それよりもサイズ感的には大きく、初めて見た大きさに感動した。サイドに付いている避難用のボードでさえ、大きいのに小さく見える程である。いつも神戸港にいるコンチェルトなど比べ物にならないと感じた。
22. こんなに大きな船に大学生の私が乗っていいの！？という印象でした。こんなに大きな船を間近で見たことすらなかったにも関わらず、この船に乗って4泊海の上で過ごすのかと思うと本当に胸が高鳴りました。また、クルーズ船ってこんなに大きなものなんだなあと思いました。
23. クルーズ船というより、海辺にある大きいホテルではないのかと思いました。写真を撮ろうとしても端から端までなかなかうまくとることができずあまりの大きさに驚きました。こんなに大きく重さもあるのになぜ海の上に浮かべているのかとても不思議に思いました。また、外からのクルーズ客船だけでもとても豪華であるような雰囲気を感じました。
24. 想像以上に大きい。客室数が多いので、ビルやマンションが船の上に建っているように見える。テレビで見た光景が目の前にある。すべてのサイズが大きく、周りにあるものがすべて小さく見えた。期待や想像を超えていたためかなり騒いだし、写真もたくさん撮った。凄さを伝えたくてすぐ両親に自慢の連絡を送った。
25. 想像していたよりはるかに大きく、窓が大量に敷き詰められており、まるで市営住宅が流れて来たかのように感じる。横浜港に到着後大きいなーと感じていたベイブリッジを通ることが出来ない大きさと聞き、クルーズ船の大きさのとんでもなさにとただただ驚いている。
26. それぞれの個室部屋がとても小さく見えるほど船全体は大きく感じられたのである。本当にこんな船の中にパンフレットで見たようなプールやシアターがあると

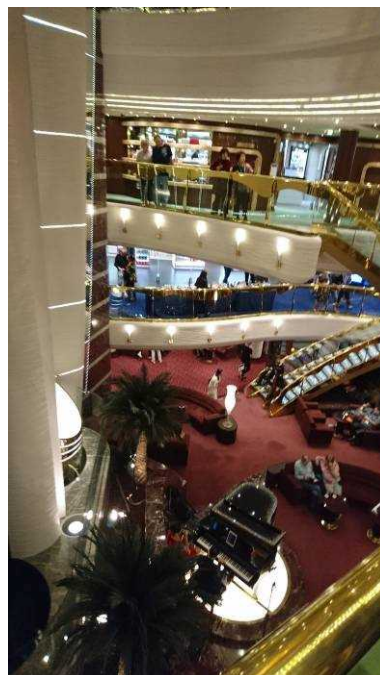
は最初信じられなかったのである。しかし、自分たちよりも先に乗船した人たちがバルコニーや屋上から笑顔で外の景色を見ている姿を見て、さらにワクワク度が高まり自分も早く中に入りたと思ったのである。

27. 外観は、意外にも想像と同じような大きさであった。横浜の大さん橋に入らないで大黒ふ頭に入るということを横浜到着時に知り、そのサイズ感・スケールの大きさをそのときに実感した。かつて舞鶴港から小樽港まで20時間掛けて船で北海道へ行ったことがあり、そのスケール感を想像していたが、それよりは大きいのは分かっていた。なお、国を複数跨ぐことや乗客の国籍を考えると、あのサイズ感でも少し小さいのでは無いかと、下船後には感じるようになった。

### (5) 乗船直後の感動

1. 今まで乗った船と同じような船内を想像していたが今までの船よりも内装が豪華であるという印象を受けた。特に顕著であったのが船内中央のスワロフスキーの階段である。またほかのエリアも4DシアターがあったりF1レースのゲームがあったりアクティビティーが充実していると感じた。船員さんの態度は明るく丁寧なスタッフが多いと思った。
2. 中央ロビーのエレベーターが高い階まで繋がっていて、船の大きさを実感した。ロビーの広さは前回に比べて広く感じて感動した。乗船直後の船員さんはとても忙しそうで少し怖かった。またクレジットカードを登録する機械が日本語設定にすると文字化けして使いにくかった。実際、日本人にご老人に登録を手伝ってくれと頼まれたことがあった。
3. パブリックスペースは昨年の船と比べて派手で豪華であると思いました。特にスワロフスキーが一面に敷かれた中央階段などは豪華さを象徴していたと思います。船員さんの態度はフランクで、想像していたより話しやすかったです。ただ料理が出てくるのが遅いと感じることがあり十分な人数の船員さんがいたのかはわかりません。
4. 英国籍の船ということで言葉の壁を心配していましたが、実際に乗船してみると日本人スタッフの方が何名かいらっしやって、外国人クルーの方も全員ではないですが、カタコトの日本語で陽気に話しかけてくれました。
5. クルーズ船に乗って最初に見えたロビーが、中央部が5階から8階まで吹き抜けになっていて、その空間の広さに圧倒されている。テレビなどでしか見たことがないような高級ホテルの中にいるような雰囲気を感じ、夢見心地な気分である。
6. 想像以上にきれいで豪華であった。六本木の高級クラブ(行ったことはありませんが)のようだと感じたのを覚えている。しかし、周りのお客さんたちが割とフランクに過ごしているのをみて、すぐに安心できた。フランクな服装で来てしまったものの、同じようにフランクな方が多く、大変安心した。

7. ダイヤモンドプリンセスに比べてMSCスプレディダは全体的にきらびやかで、特に総合受付のあるフロアにはスワロフスキーが敷き詰められた螺旋階段がとてもきれいである。船員さんは前回同様優しいが、コックさんは少し冷たく感じる。
8. 船内に入ると、なかなかキラキラしていて驚きを隠せないとともに、テンションがだいぶ上がってきたことを感じる。バーも想像以上にすごくお洒落である。船員さんの言っていることはいまいち分からないが、船員も船員っぽさがあまりなくホテルのスタッフのような印象である。
9. I did not have any previous expectations about how the crew would behave because this was the first time I boarded a cruise ship, but I was pleasantly surprised to see the crew was nice and helpful. From the person waiting in front of the buffet to help clean the persons' hands with alcohol before eating, to the persons entertaining the passengers in front of the swimming pool, they all were pleasantly helpful. The architecture of the cruise ship was luxurious. I really like the shiny steps that people see when first entering in the ship.
10. とても豪華な内装で、スワロフスキーの階段に圧倒された。入った瞬間から赤いカーペットで豪華客船なんだと思った。船員さんの態度についてはとてもまちまちで、男性の船員さんは怖かったイメージが強い。女性の船員さんは笑顔が素敵な人が多かったが、船上はどのような研修を受けているのかとても気になった。
11. 私の場合は事前に知らされた概要を半信半疑くらいにしかみていなかったもので、目でみて船内に足を踏み込んでその絢爛豪華な雰囲気やヤバイと声をもらすほど感動した。船員さんの態度には私がレストランでアルバイトをしていることもあり、たいして感動する等な感想は持たなかった。
12. これで僕は日本を出て海外に入国した。もう海外だと子供のような気持であった。広すぎて方向感覚が分からなくなって迷子になってしまう、しかし、オペーションオブザシーズの方が豪華である。また、話してくれる人がいて、何とか過ごしていけそうである、と思っていた。
13. 乗船直後は、見える1つ1つの施設は、1つ1つ思考された雰囲気のデザインであったりなど、自分の非日常であると感じる。また、英語オンリーの船内で、船員さんに少し拙い英語を話してもしっかりとわかりやすく説明してくれることはとても安心とサービス精神に溢れていると感じる。



14. 私のクルーズについてのイメージはTitanicという映画しかありませんから、自分のイメージしていた内容と似ってる部分もあり、少し違った部分もあります。船員さんのサービスもいいです。
15. 乗客をはじめ、ほとんどの人が外国人で、中では当たり前のように英語を中心に会話が行われており、とても刺激的に感じる。船員の人は、この仕事に誇りを持っているような様子であり、たくましく見える。日本人を見つけるのが困難なほど、外国人が多く、ここは日本ではないのではと錯覚を起こす。部屋はバルコニー付きで海がきれいに見える。
16. 入港審査を通過した後に実際にクルーズ船入口から船に乗船する際、海外のスタッフの方が身体検査を行い、そこから早速日本の外に行くのだとの実感が湧き始めた。クルーズ船内に入るとまずはじめに見えるのが光り輝くスワロフスキーの階段とグランドピアノが備え付けられているパブリックスペースである。それらは日本で大学生として生活する上では到底味わう事の出来ない上質で洗練された空間である。
17. The staff inside cruise are good and helpful, the whole renovation of cruise are amazing and great, the room with balcony is super great. I like it very very much.
18. 一番目を引くのはやはりラウンジだ。写真で見ると本物を見るのでは輝きも大きく違う。安武先生から「この階段にはスワロフスキーが散りばめられています」と教えていただき、何だかマーベラスでゴージャスで有名な某姉妹の世界に迷い込んだ気分になった。一方で、船員さんは砕けた印象を受け、「ここはもう日本ではない」と感じた。
19. まず入り口には屈強な外国人が数人立っており日本語がまるで通じない環境に驚いた。私のイメージではもう少し日本人スタッフが充実していると思っていた。パブリックステージでは国籍がまるで違う人がダンスを踊っておりまるで映画さながらの楽しい空間だった。
20. まず入り口にはプロレスラーのような外国人が数人立っており殴られたら死ぬなと思った。そして香水のようなこれぞ外国と思わせるようなにおい嗅いだのを覚えている。パブリックステージでは多く外国人が受付に並んでおり、様々な言語が飛び交っていた。
21. 船員さんの態度や対応に関しては全体的には良い印象だ。レセプションでの対応には少し不満である。日本人の船員の方も何名かいらっしやると思っていたが、1人しか見かけず驚いた。スペースに関してはイメージしていたものと変わらない。



22. スワロフスキーのらせん階段を見た瞬間、自分のイメージしていた豪華客船の何倍も豪華な空間に驚きと幸福感でいっぱいになりました。映画の中に来たような空間に圧倒され、テンションが今までにないほど上がったのを鮮明に覚えています。船員さんの態度、接客は丁寧で、日本のおもてなしの心的なものを感じました。
23. 乗船直後、スワロフスキーの階段が目に入ったり、バイオリンとピアノを弾いている船員さんがいて、私たち学生がこのような場にもいいのかとってしまいました。また、もっとに日本人の船員がいると思っていましたが、ほとんどいなかったのと英語ではない言葉が多く飛び交っていてびっくりしました。
24. ホームページで見た通り、入口入ってすぐに豪華な階段があった。金とスワロフスキーで階段が作られているため、目に刺激的だ。乗客は欧米人ばかりだと思っていたがそんなことはなく、日本から中国に向かうためか日本人と中国人がたくさんいた。ヨーロッパ船だからなのか、船員さんにアジア系は少なかった。
25. 日本を通る船なので、もう少し日本人がたくさんいるのかと想像していたが、ほとんど外国人それもヨーロッパの方が多く驚いている。クルーズ船のクルーは思っている以上にたくさんいて全部で何人ぐらい働いているのか気になる。ただ驚くほどに全てのクルーが服装・態度ともにジェントルマンで人気がある理由が感じられる。
26. チェックインを済ませ、乗船して最初にスワロフスキーの大階段のスペースを目にしたときは映画の世界のような華やかさに魅了されたのである。どの船員さんたちも特別何か言葉を交わさなくとも、こちらに向けてアイコンタクトや笑顔で接客してくれたので、ゲストとしてもてなされていることに嬉しく思うのである。
27. 写真で見たものが目の前にある不思議な感じや、想像していた以上に船内が広いという驚きを抱えて乗船。15階建てであるということも知らなかったし、船内にあれだけの人数が乗っていることや、クルー人員が大勢居ることについても想像できなかった。パブリックスペースが多数設けられていることや、船員さんの国籍の多さに感心した。また、クルーさんの言語能力の高さには感動するあまりであった。



## 第2部 <クルーズ船>

### (1) 避難訓練と安全対策への感想

1. 船員さんのやる気があまりないように感じた。中にはほとんどの説明を受けていない人も多くいて本当に意味があるのか少し懐疑的であった。
2. 避難訓練を受ける人の人数分の椅子がなくて、立ったまま長時間待たされた人が多く大変そうでした。複数カ国語の説明を流すので、1つの動作の説明の時間が長く退屈でした。どこから船の外に出ればいいのかの説明をしていなかった気がするが、それで大丈夫なのかなと思った。
3. 避難訓練が乗車後すぐに行われたことで気持ちが引き締まりました。ただ時間がかかりすぎているように感じました。これはスペイン語、英語、日本語の3種類の言語で同じ説明がなされていたため仕方がないことだと思います。クルーズカードにどこに避難したら良いのか書かれていたのはわかりやすかったと思います。
4. 参加できない人のために何度も行うのはよいと思った。また人数が多いにもかかわらず、いくつかの階層やスペースに分けて避難訓練を行ったり、また説明の映像のユニークさや多言語に対応しているのもよいと思った。
5. 安全対策に関する説明をいくつかの言語で行っていたのは乗客全員が理解できるようにするための工夫で良いと思ったが、説明が長くて途中で眠くなってしまったのでもう少し説明の時間を短くしてほしい。
6. 規則として必要なものなんだろうと思いながら受講していた。なぜ外にあったボートの使用説明は行わないのか疑問もあった。日本語の説明はあるものの、船内の案内板は多国語で記載されている為、日本語版もあると便利だと感じた。
7. 前回同様分かりやすい。前回体験しているので分かりやすいという点もあるように感じる。日本語のアナウンスが最後の方なのでその点は少し不安になる。僕の部屋の救命胴衣は水にぬれると光るバッジが付いておらず、少し不安になる。
8. もちろん、最初にやらなければいけないのは分かるのだが、広すぎる故にいきなりやっても場所ががいまいち分からず、周りの人についていけなくなってしまった。複数の言語で丁寧にアナウンスしてくれるのはありがたいが、もし本当に緊急事態になった場合でもこうしてくれるのが不安ではある。
9. The evacuation training we had on the first day was instructive in the way they showed us where the life vests were located in the room, how to put on the life vest. What they did not tell us was how to evacuate the ship in case of an emergency, and that is something I find important. That they sounded the alarm to show us how it sounded was good for us to know when to evacuate the ship.

10. 避難訓練に対しては、英語で最初わからなかったがそのあとに日本語でも船員さんが言ってくれたのでわかりやすかった。思っていたよりも船の避難訓練は簡単な説明で終わったため、少し大丈夫なのか不安になった。また人がたくさんいたため騒がしく、一気にやる必要はなかったのではないかと考える。
11. 避難訓練のとき、部屋で避難場所を確認していて他の乗船客よりも遅れをとっていたところ船員が部屋のドアをロックして避難場所まで誘導して下さった。廊下に出ると船員が各階にプラカードを持って立っていたためほとんど迷うことなく避難場所に到着することができた。後に船員は全員参加の避難訓練であったと知り、万が一の訓練への真剣な姿勢を感じることができた。

12. もしものことがあった時のために義務づけられていることであり、真剣に受講した。5か国語ぐらいの言語でアナウンスをしており長く、それだけ多くの国の方々が乗船しているのだと実感した。大人数をまとめること、伝えることの難しさを知った。また、乗員は美男美女ばかりで、スタイルもよく、日本人には比較にもならないような体格で素敵であると感じた。



13. 飛行機とクルーズとの違いをととても感じる。船員さんが模倣としてやっているところを見ていないと注意する、またやっていないとしっかりとやってもらうなど避難訓練の重要性をととても感じる。こういった訓練がもしもの事態に対して対策としてできているんだと感じる。船員さん一人一人が安全に向けたことをしていると感じる。
14. 私は飛行機を乗る時に安全対策の紙を読む人ですから、今度のクルーズの避難訓練と安全対策があったおかげで安心できました。しかし、私たちは外国人です。ビザなどを確認時間もかかったのが、船を乗るのは皆さんより遅かったのです。そのため、乗ったばかりで避難訓練と安全対策を行うのは突然なことだと思います。
15. 乗船して間もなく始まった避難訓練では、英語やスペイン語の通訳もあり、しっかりとしていると思った。避難訓練をしていると、ふとタイタニックの映画を思い出した。船の中で真っ先に行ったことが避難訓練であったため、
16. 乗船した後自分の泊まる部屋へのチェックインを済ませ、その後にアナウンスで避難訓練について知らされた。いざクルーズ船が海原に沈みそうになった際の避難経路やエアバックの位置、使い方についてのレクチャーであった。まず乗船直後に避難訓練が行われたことに安全面に配慮がなされている事を感じた。
17. When this happened I was inside my room, I didn't join the emergency training



but I learned how to wear the safety coat in my room through the television image. It was great introduction and I knew where are those emergency exit.

18. 飛行機に搭乗する際、離陸前に緊急時の対処方法について数分間「説明」を受けるが、クルーズ船においては説明だけでなく「訓練」を行うということだったので、それよりも実践的で本格的なものだと考えていた。しかし、救命胴衣を着用して指定の場所へ移動していたらあっさり終わったので、拍子抜けした。ただ、救命胴衣の扱い方や指定場所への移動は実際やってみないと分からないことも多かった。
19. 初めてのライフジャケットの本格的な講習で、かつ英語オンリーの説明だったため従業員の身振り手振りを必死に見ていて疲れたことを覚えている。タイタニックを見ていたので不安がたくさんあったが安全対策を全員で確認できたのは安心感があった。
20. まず乗船時間が少し遅れ避難訓練に少し遅れてしまった。しかし放送を日本語でしてくれたり、周りの人が教えてくれたりで何とかなった。しかし完全には把握できてはいなかったのでいざという時に備えてもう少し徹底した方がいいと思う。
21. 避難訓練は乗船客全員が参加型で少し驚いた。避難訓練用の用具は、分かりにくい位置、高い位置にあった為、もし本当に危険な事が起こった場合見つけるのに時間がかかり、身長が低い人はどうするのだろうと思った。訓練内容に関しては、詳しい説明もあった為良かったと思う。
22. 一つ一つ丁寧に説明してくださったのでとてもわかりやすかったです。避難訓練中はすべてのサービスを停止していたことに、避難訓練への徹底ぶりが感じられました。また、一回目の避難訓練に参加出来なかったら次の回に参加くださいというアナウンスが何度か聞いて、本当に徹底されているなあと感じました。
23. 英語と日本語で放送がありましたが、よく聞き取れず周りの部屋の人々について避難訓練しました。一応船員の方が前に立ってライフジャケットの着用の仕方を教えてくれましたが、真剣に聞いていたのは私たちだけでした。また、私の部屋のライフジャケットには笛がついていないものがあり、少し不安に思いました。
24. 飛行機でも安全対策は行うが客室乗務員が見本を見せるだけで、救命道具をつけたことはなかった。しかし今回は救命道具を身に着けた。私は一回目の避難訓練に参加したが、乗船日の夜、翌日の午前中にも避難訓練は実施されていた。全員参加が絶対で、さらにルームカードの提示も義務付けられていたので安全対策への抜かりなさを感じた。
25. どの国かも分からない外国人の自分に丁寧に指導してくれて、紳士的に感じられる。その場に外国人が集合している雰囲気は異空間すぎて、非日常感を感じる。出会った全てのクルーが優しく丁寧に教えてくれている。避難訓練に來れなかった人のために何度も避難煙煙を行なっていて、安全対策に抜かりがないように感

じる。

26. 初めてのクルーズ船ということでどうしても映画「タイタニック」の沈没してしまいうイメージや、参加必須の訓練であるということから少し身構えていたが、周りの人たちの雰囲気やお手本としてライフジャケットを装着する船員の様子から、正直、あまり真剣さは感じられなかったのである。
27. 船内で多くの人とともに時間を過ごすということで、安全意識は高い。多言語での避難訓練は非常に重要だと感じた。日本語の対応もあって、我々でも理解出来るように配慮がされていたのは素晴らしいと感じた。浮具の装着方法についてマニュアルを各キャビンに配置して、各人で対応することや、避難訓練でしか伝達できない事項を伝達すれば、もう少し時間の短縮に繋がったのではないだろうかと回顧する。

## (2) 船内施設（ハード面）の感想（船内施設・施設のレイアウトなど）

1. 船内は移動がとてもスムーズに行うことが出来た、またエレベーターも到着が早かったと感じた。夜の時間帯などは移動できなくなる区画が存在していたのでそれが船内地図で分かるようになるとより良いと感じた。
2. エレベーターがあまり止まらないことに不便した。またエレベーターロビーでエレベーターを待つとき、エレベーターが来たか分からない（死角になるので）。プールが深くて怖かった。欧米では一般的なのかもしれないが、日本人の想定していなかった深さで溺れそうだった。どこかに水深の表示があると安全であると思う。
3. 船内施設はプール・映画館・カジノ・バー・ジム・レクリエーションエリアと様々なものがあり家族で乗っても楽しめる設備だと感じた。施設のレイアウトは、カジノやバーが行きやすいところにあり、またジムなどは眺望を楽しめる場所にあり良いと感じた。部屋に関してはちょっといいホテルくらいであった。
4. 乗客人数がとても多いから仕方ないのかもしれないが部屋から施設までがとても長くてすごく疲れた。また施設の数が多過ぎるのと階層が多いのもあって最初は迷うこともあった。船内はとても清潔で、かけた金銭以上のサービスをうけられるだろうと容易に予想できた。
5. レストランやバーなどの場所が船内の地図を見ても分かりづらく、どの施設に行くためにはどのエレベーターや階段を使えばいいのかがなかなか覚えられなかった。また、エレベーターを呼んでから来るのが遅くて不便だった。
6. 非常に豪華だった。また、アミューズメントのコンテンツも充実しており、街のようなイメージを受けた。レイアウトとしては、初めのうちはどこになにがあるのか全く分からないほど、迷路のように感じていた。想像以上にいろいろな施設があっぴびっくりした。

7. 前回の船、ダイヤモンドプリンセスと大きく異なるのは、ボーリング・ゲームセンターなどのアミューズメントエリアが多く楽しい。しかし、プールの数は少し少なく感じる。単純な見た目の豪華さではMSCスプレディダの方が良い。

8. 各階にあるフロアの施設のマップを見ても、どれが何の施設を意味しているのかが分かりづらかった。また移動中でも、通行止めであったり、反対側に移動しなければ店の中に入らないとその先に行けないことがあるなど、施設単体で見れば素晴らしくてもレイアウトという面で見ると不満であった。



9. The ship had everything you need in a vacation, including swimming pools, sports facilities, many restaurants, shops, and game rooms. The elevators and different rooms were beautifully designed, and where also efficient in the way that they were big enough for many people to fit comfortably in.

10. 船内施設はとても充実していて。何不自由なく過ごせた。夜も遅くまで楽しめたし、朝も早くからジムが開いていたためフレッシュな朝を迎えることができた。施設のレイアウトは、あまりにも船内が大きいと移動するまでに時間がかかり、また地図も結構簡略化されていたと思うのですごく迷子になったし、場所を探すのに時間がかかったため広すぎるのもよくないなと思ってしまった。

11. キャビン(進行方向をむいて右側)から見える大海原に気分が高揚した。また廊下ではズラリと並ぶキャビンにいったいどれ程の方々が宿泊されているのであろうかとかんじた。また、船内レイアウトは各階の各フロアにあった内装が施してあると感じた。そのため、船内にいるというよりも、商業施設の中でお買い物をしたり、写真を撮ったりしている感覚であった。

12. かなり充実しており、何に行こうか考えることが楽しみであり、海を眺めたり、ベットに転んで風を感じながら寝たりする非日常があった。やはりクルーズ船は楽しむものがたくさんあり、食事も充実しているため、港に寄港しても下船して観光する乗客が少ないのだなと実感した。しかし、3泊4日もいると慣れがくるから、下船も一つの大切なクルーズ観光に必要な要素であり、寄港地は主ではなくサービスぐらいなのと思った。

13. 天気や気温によってプールに関しては、屋外、屋内があるのはとてもいいと感じる。また、他にも、卓球やフットサルなど人によってスポーツや鑑賞などやりたいものがそろっているのではないかと感じる。夜までディスコといった楽しめるものがあるのは、クルーズの一つの醍醐味であると感じる。

14. クルーズは大き過ぎて全部回っていたのか分からなほど大きい。あっという間に二日間終わってしまった。船内施設・施設のレイアウトなどはとてもよかったです。
15. プールで足が届かなかったことには驚いたが、ウォータースライダーや卓球、フットサルもでき、船内施設には大満足である。また、夜にはディスコで踊ることもできたので、一日中ずっと船内のあらゆる施設を堪能できた。シアターでカルメンのオペラを鑑賞でき、改めて船の大きさを感じた。1か月くらいここに住みたいと思うくらいの船内施設であった。
16. 私が最初にクルーズのハード面で感銘を受けたのは自分のステイする部屋の豪華さである。今回は部屋にバルコニーがついており、いつでも気軽に大海原を眺めることが出来た。また室内については高級ホテルと並ぶ内装でありとてもリラックスできる快適な部屋であった。又船内施設に屋外プールとジャグジー、カジノやジム、スポーツ施設、ディスコや劇場がありいつでも楽しむことの出来る設備が整っていた。
17. The facilities inside cruise are so complete and very humanize. I like the swimming pool very much especially the indoor pool and the disco which provided during late night.
18. 船上であることを忘れるくらいに充実した設備で、揺れも少なく心配していた船酔いにほとんど苦しめられなくて良かった。ただ、船内が広いだけに場所を覚えるのに3日はかかった。特に、レストランが複数あったことや、案内図に日本語が無い点で、序盤は目的地にたどり着くまで時間を要してしまった。また、エレベーターが常に混雑していることや不具合が多かったので、少々の上下の移動では階段を使った。
19. 船内が大きいのもっとたくさんのエレベーターや階段などがあれば良いと思った。船内にトレーニングルームがあるので運動不足などが解消されてとても助かった。個人的にはもう少しスポーツなどが出来る施設があればもっと楽しむことが出来たと思う。
20. 様々な施設があったが私は主にカジノ、プール、レストラン、ディスコで過ごした。レストランは無料の所だけでなく有料のレストランもあり、特別な雰囲気があった。今回金銭的に余裕がなく行けなかったのが残念だった。他には多くのバーがあり、一つ一つ雰囲気が違ってとてもよかった。
21. クルーズ船内施設はとても満足だ。私たちは友人と全てのバーや施設を楽しむという事を目標にジムやプール、ディスコも体験した。船内はとても広かった為、連絡が取れないこともあり、迷子になりそうかとても不安だった。至る所にマッ



プはあったが、それでも少し難しかった。特に各部屋の配置は慣れるまで難しかった。

22. 部屋、店ごとに雰囲気は全然違い、何度でも楽しめる空間だなあと考えた。またジムがある場所は海を眺めながら運動が出来る場所にあるのが贅沢感を感じれるレイアウトだなあと考えた。また、室内のプールやスワロフスキーのらせん階段など、開放感に溢れた作りが最高だと思った。
23. 端から端までとても距離があったので一つの施設に行ってから自分の部屋に戻るまでとても大変でした。ジムが船の先頭にあり、ランニングをしながら外の景色を見れるのがとてもよかったです。また、プールも室内と屋内どちらにもあることや、一つだけではなく多くのバーやレストランがちりばめられていたので毎日飽きることはありませんでした。
24. 船内がとても広く、最初はかなり迷った。決まった行き方でないとたどり着けなかったり、今どこにいるのかがわからなかったり、トイレの表示も少なく、迷路のようで面白いとも感じたが、そこは少し不便にも感じた。部屋は二人ともスーツケースを広げられるスペースがあり、十分だった。
25. ひとつひとつ施設のレイアウトにこだわりが感じられ、お金がたくさんかかっていることが感じられる。階段のスワロフスキーを始め、たくさんのバーやミュージカルのできる会場はこのクルーズ船を通して感じられる非日常感をより感じさせてくれる。
26. プール、シアター、レストラン、すべてのスケールの大きさと華麗さに驚いたのである。最終日まで船内の位置関係や場所を把握しきれなかったが、快適に過ごすことができたのである。船内の免税店での買い物を最初は楽しみにしていたが、セール商品以外値札が販売員に聞かないとわからない状況だったので、結局買わなかった。
27. 船内で開催されるイベントで印象深かったのはディスコナイトである。私は音楽と踊ることが好きなので、このようなイベントは非常に楽しめた。そこで他の乗客の方とのコミュニケーションを取り、船内の思い出が出来た。なお、船内マップと、iPadを用意すれば良かったと反省。あれだけ船内が広いというのは想像していなかったもので、乗船後に後悔した。あれほどに船内でイベントが実施されるとは思っておらず、また、船内のフリースペースや過ごし方について、乗船中は悩んだ。かくいうソフト・ハード面が充実していた分、参加出来なかったプログラムや行けなかったスペースを悔やんだ。船内レイアウトがわかり始めたころにはもう下船だったということも悔やまれる。

(3) 船内サービス(ソフト)の感想①「レストラン・カフェ・バーでのメニューについて」、②「レストラン・カフェ・バーでのサービスについて」、③「キ

「キャビン清掃、ホテルレセプションについて」、④「カジノについて」)

1. レストランでは毎日違う料理を食べることができ、ちょっとおなかがすいたときにはピザ・ハンバーガーなどを食べることができ夜でもルームサービスで食べ物を頼むことができたので食事に困ることも飽きることもなく色々な食事を満喫できた。しかしシガーバーではほとんどのシガーが売り切れだったり、キャビンには毛髪が落ちていたりと残念な部分もあった。
2. レストランでのディナーは前回のダイヤモンドプリンセスに比べて、安っぽい感じがした。メニュー表の写真もキレイとは言えなかった。一方でビュッフェのメニューはとても豊富で、時間帯によって変わっていて常に楽しめた。②バーのメニュー表に記載されているのに、実際に頼むと「今はそのお酒は置いていない」と言われることが特にビールが多かった。③乗船後すぐにサービスカウンターに行ったのですが、船員さんが常に忙しいようで、順番待ちをしても後ろの人に抜かされてしまい苛立った。とても高級とは言えない接客でした。④カジノはやっていないのであまり分からないが、カジノの2階に吹き抜けでバーがあるのは、折角バーの雰囲気がいいのに残念でした。
3. ①カフェやバーのメニューは充実していたが、レストランのメニュー、特にデザートやサプライの種類が少ないと感じた。②サーブが少し遅いような気がした。③キャビン清掃はちょうどアカデミーのディスカッションの時間にかぶっていたのか、気づかない間に整えられていた。レセプションは待ち行列が長いのに効率が悪いように感じた。④バーから自然に行けるところにあり良かった。
4. ①ビュッフェレストランでは毎日白米があって日本食もありました。味付けや量はというと、私個人的には『うーん。』という感想で、和食の味付けが薄めかなと感じました。朝は基本バイキングというのはよいと思った。カジノは個人的にとっても楽しかったのももっと推進してほしい。ゲームももう少し多めがいい。
5. ①レストランでは毎日違う料理を食べることができ、ちょっとおなかがすいたときにはピザ・ハンバーガー・デザートなどを食べることができ夜でもルームサービスで食べ物を頼むことができたので食事に困ることも飽きることもなく色々な食事を満喫できた。部屋の清掃やスタッフの対応も丁寧で良かった。
6. ①カジノに関しては非常に悲しい思いを抱いている。アルバイトで貯めていたお金をほぼ全て溶かした。他のカジノと比較して非常に厳しい設定のマシンが導入されていたと推察している。特にスロット台は毎日設定をいじるべきと感じた。
7. ①②レストランで前回と異なり驚いたのは、メインのメニューを複数頼めないこ



と。メニューの種類に関しては、グローバルに対応していたが、むしろ洋食のみを食べたいので物足りないと感じる。水が有料にも驚く。③対応が良く、優しい英語で接してくれて満足である。④前回と異なり、マシーン版のルーレットを主に楽しむ。普段できない事なので、やはり楽しい。

8. ①正直、あまりおいしくはなかった（特にご飯・麺類系）。しかし、ビュッフェは海原を見ながら食べることが出来たので良かった。②席の担当が決まっているのか知らないが、呼んで明らかにスタッフが気が付いているのにこちらに来ないことが多々あったのが不満である。③清掃については文句のつけどころがなかった。レセプションでも、日本語ができるスタッフがいたので安心した。④ディーラーもなかなか面白い人がいて楽しかった。しかしこの受付は日本語が通じなかったのが不便であった。
9. 1. The buffet was the best place to eat in the cruise ship in my opinion because you did not have to pay anything extra, there was so much food variety that everyone could eat what they wanted at the moment, and also water was available. The night restaurant was also tasty, but it had 2 downsides. the first one is that there was not so much choice like in the buffet. The second one is that drinks (also water), were not included. 2. Something positive about the dinner restaurant was that waiters would bring the food to the table, and the restaurant looked nice. In both the buffet, restaurant, and different cafes the crew was helpful. 3. That the cabin was cleaned many times per day was something very positive about the room service in the ship. Every time we got back to the room everything was clean. The hotel reception was sometimes crowded, but the line moved fast and the receptionists were polite. 4 I did not use the casino, but the facilities were fancy.
10. ①レストランはとても広くて使いやすかったがあまりご飯はおいしいとは思えなかった。バーについてはお酒の種類も豊富でいろいろなお酒を飲めたため楽しく過ごせた。②サービスに関しては空いたお皿を下げる遅さや、お客様への目配りの少なさを感じた。③清掃はとても綺麗でいつも快適に過ごせた。④カジノについては何もしていないため特に感想はない。
11. ①前菜で提供されるスープとデザートは美味しいと感じた。少し残念であったのは、メインのお料理が給仕される時点ですでに冷めていたこと。②サービスに船員の差が出るのは仕方がないことだと思う。しかし、レストランでサービス員が新人サービス員？に怒り始めたときはさすがに止めてほしいと感じた。③大満足です。いつもお部屋は清潔であるし、レセプションの皆さんは丁寧な接客でした。④私は賭けなかったが、日本人の一般乗船客の1人にテーブルゲームを教えていただくことができた。

12. ①日本料理を食べられないと思っていたので、食べれたことがうれしかった。しかし、求める日本料理の基準が高かった為、その場で食べることのできる料理を堪能した。②無料であってもサービスが行き届いており、スタッフ一人一人が仕事だとしても、私たちを楽しませるといった気持ちを感じられた。素敵なスタッフばかりであった。③1日に清掃が1回のみでなく、そこまでやってくれるのかというほどの清掃で安心できた。正直、清掃や清潔さは期待していなかっただけに、驚いた。シャンプーがギシギシで、次回は持参しようと思った。④経験はしなかったが、楽しそうな雰囲気ですごくお金が無くなっていきそうであった。

13. 1. 食べたいときに食べることができ、ほしいものがそろっている環境である。2. 片付いたお皿をすぐに持って行ってもらうことはとてもよかった。3. 短時間で清掃、備品補充をしてくれるのはとてもよかった。4. カジノに関しては、勇気が出ず、ビンゴしかしてないが、とてもわくわくさせるものであったと感じた。



14. 1. 朝、昼、夜によるメニューが変わったが、一日目のメニューと二日目のメニューと同じのもありました。2. サービスもよかったです。3. 全部は綺麗に掃除してくれたのでよかったです。4. カジノは見ただけですが、カジノの船員さんは笑顔でよかったです。
15. ①甘いものから辛いものまで、その時ほしいものが何でも手に入る環境だった。②食べ終わったお皿を片付けてくれるのは嬉しかったが、食べている途中のものもお手洗いに行っている間に下げられていたのは驚いた。③部屋にいない間、清掃の方が綺麗にしてくれたおかげで、快適に過ごせた。レセプションでは、迅速な対応をしていただいた。
16. 館内サービスのレストラン・カフェ・バーでのメニューについては、まずいつでも飲食が出来るビュッフェレストランがあり、空腹時には気軽に軽食を取ることが出来た。メニューは洋食、日本食、エスニック料理、ハンバーガーなどのファストフードとバラエティに富んでいた。レストラン・カフェ・バーでのサービスについては、ウェイターの方にメニューについて質問するとわかりやすく材料やどんな料理であるか説明して頂き、サービス精神に富んでいたと感じた。キャビン清掃、ホテルレセプションについては一日に一回はルームサービスでベッドメイキングからタオル等の補充が済まされており、快適な空間を保って頂いた。ホテルレセプションについて、請求書の表示がどうなされるかの質問をしたところ笑顔で分かりやすく説明して頂いたのもとても好印象であった。カジノについて、私はカジノで賭けを行わなかったが様々なゲームが用意されており、ギャンブル




好きにはもってこいの場所であったと感じた。

17. ①The restaurant which the place that we took our formal dinner was very good services. We can choose a few dishes from the menu and the menu change every night. But the staff who checked our cruise card was abit rude to us. 2. The buffet places provided different types of dishes was super nice. 3. Housekeeping service was good and I felt satisfying about this. 4. The casino is a bit small and the variety of games are limited. Maybe more table games will attract more customers to play on it.

18. ①②14階のbuffetについては、基本的に無料で飲食が出来たので最も利用機会が多かった。提供メニューも多く、コーヒーがセルフサービスで無料だったのは個人的に有り難かったが、それを知ったのが2日目だったので、初日にバーで有料のコーヒーを飲んだ。ディナーで利用したレストランは、コースメニューが豊富で良かった。マナー等不慣れな部分があり少々戸惑ったが、慣れてからは問題なかった。



- ③海外でホテルに宿泊した経験があるが、基本的にそれと同じだったのであまり混乱はしなかった。しかし、顧客カードを用いた支払システムでは、相部屋の子の分の支払いが自分にまとめて請求されていたりしたことや、レセプションカウンターやパスポートの返却などが常に混雑していたところについては、改善されればいいなと感じた。④過去に一度だけカジノを体験したことがあり、あまりのめり込みたくないとの考えから、船内のカジノは見るだけだった。船内のサービスが全て馴染みのないユーロだったことも、カジノを敬遠した理由の一つだった。
19. 1メニューが豊富で何を飲もうか迷ったくらいだった 2サービスについては日本語が話せるスタッフがいないのでメニュー表に書いていてほしかった 3清掃員がしっかりと挨拶をしてくれてとても気持ちのいい接客だった。 4もう少したくさんのカードゲームがあってもいいと感じた。
20. 1様々な種類の料理、お酒があつてどれにしようか迷った。日本食、日本のビールが豊富で少し驚いた。 2サービスについては日本語が話せるスタッフがいないのでメニュー表に書いていてほしかった 3今回のクルーズで携帯電話を無くして何度もレセプションに伺ったが毎回丁寧に接客してくれた。しかし日本語を話せる人がいなかった。 4様々なギャンブルがあつてルールが分からないものには挑戦できなかった。ルールブックのようなものが配布されれば挑戦できたかもしれない。

21. ①メニュー全般については種類も多く満足である。しかし、お水が少し高いのかなという風を感じた。だが、サービス等のことを考えると妥当な金額だったのかなと思う。②サービスは全体的に満足だ。レストランやカフェに行くと必ず「おはようございます、こんにちは」など日本語で挨拶して下さる。おもてなしをとでも感じる事が出来た。③清掃の方はどの方も親切、丁寧で、こちらが挨拶する前から挨拶して下さった。清掃に関しては満足だ。レセプションについては、私が入金したお金が友人のカードに入れられていたりといくつか問題はあった。対応はして下さったが、こちらが悪いような雰囲気だった。④今回は初カジノだった。種類は沢山あったが、初心者でも簡単にできるルーレットに挑戦した。ハッピーアワーがもっと作られていれば、より多くの方が参加できるのではないかと思った。
22. ①MSCオリジナルのメニューや様々な国のメニューが日替わりであったりと豪華だなあと思いました。②すぐに船員さんが来てくださり丁寧な接客でした。③キャビンの清掃の早さには毎日驚かされていました。部屋に帰ると毎回綺麗で本当にありがたいなあと思いました。④初めて生でカジノを見て、映画の中に来たみたいだと思いました。
23. ①バーごとに置いているドリンクが違うのかと思っていましたがすべての店舗で同じでお店の雰囲気が違うだけでした。②船員さんはとても親切で、つたない英語でも質問したことに答えてくれました。③いつも帰ってきたときには常にきれいな状態になっていました。レセプションは対応してくれる人で最後まで業務をしてくれる人と途中で投げ出される船員がいました。④ほとんどがアジア系の人が使っていました。自分が思っていたより利用している人が少なかったです。
24. 私の好み合わなかっただけだと思うが、デザートは味付けはかなり甘く、ほとんどのケーキは食べることができなかつた。しかし、普通のご飯はおいしかった。そして、船全体は清掃が行き届いており、汚いと感じることはなかつた。清掃員や清掃シーンもあまり見かけないのもよかつた。
- 
25. 一日中楽しめるバイキングが完備されており、それだけでもこのクルーズ船を楽しむ要素になっている。バーでも多くのお酒が用意されており、また違った楽しみ方を送ることができる。清掃の従業員の方々も非常に紳士的で、部屋の外でも中でも快適に過ごすことが出来た。
26. ①日や時間帯によって内容も変わっており、いろんな種類の料理を楽しむことができたので大変満足である。②特にレストランではサーバーによっての対応が異

なっているように感じたのである。メニューを聞いて、ただ運ぶだけの人もいれば、席に案内するまでにコミュニケーションをとったり、オススメを教えてくださいと人によって差があるようである。③清掃に関しては部屋も綺麗に掃除されており、何も文句はないのである。④最初に思っていたより人も少なかったため、賑わっている雰囲気ではなく、各個人で楽しんでいるような様子だったのである。

27. 船内表記が英語のものが多く（日本語は少ないだろうとは分かっている）メニューを頼むことには若干の混乱はあったが困るほどではなかった。サービスも充実しており、食べ終わったあとの食器をすぐに下げただけたり、メニューのオススメを日本語で伺うことが出来たりと、クルーの方の教育の施されようには感心した。ホテルレセプション（5階）をであれだけの人員を捌き切るには、クルー人員の割り方が悪いように感じた。しかし列に並んでいる最中に、要件を予め聞き、即時対応可能なものをその場で対応していたというサービスの評価は高い。また、カジノは、入りやすいような入り口・フロア設計になっており、未経験ながら楽しめた。既にSCAの学生が居たので話すついでにカジノに参加したが、そういう学生が先に居なければ私はカジノに寄らなかったかもしれない。豪華客船にしろ、カジノにしろ、その他ソフト面の船内サービスにしろ、初めての私にとってどういう立ち振舞かたが正しい(美德)なのかが分からなかったのも、ひたすらに誰かのあとを追い、自分で英語でクルーに相談し、仲良くなった乗客の方にも相談し、楽しみを深めていった。

#### (4) 船内SHOW, エンターテイメントの感想(船内鑑賞イベント全般、プロダクションショー)

1. 今回は全てのSHOWを見たわけではないが、適度にカジュアルな内容だったので知識がなくても楽しめるものだった。個人的にはバーなどでのピアノ演奏が夜行われていて船内でゆっくりと非日常を落ち着きながら味わうことが出来てひっ上によかった。
2. 船内新聞には「16階の映画館で映画鑑賞」とあったが、会員限定スペースでのイベントだったらしく参加できなかった。会員限定ならそういう記載が欲しかった。イベントについては前回の船に比べて格段に少なかったのも、もう少し長期間の滞在になると退屈していたと思う。
3. ショーは今まで観に行くことが少なかったため新鮮に感じた。パフォーマンスのレベルが高く驚いた。スペイン語がわからない人でも楽しめる作りになっていたように感じる。
4. 正直、カジノにかかりきりだったので全くみていないのでコメントできない。周りの様子をみる限り、満足度はとても高かったようだ。今回は下調べを何もせず行ったためその辺はそもそも、乗船時は行く発想すら浮かばなかったが、次行く

ときは行ってみてもいいかもしれない。

5. 1日目の夜に観たショーは素晴らしかった。演じている人たちの踊りのレベルは非常に高く、ショーの中で使われていた音楽は自分が知っているものだったので、演技を観るといっただけでなく音楽を聞くという点でもショーを楽しめた。
6. 共有スペースにて行われていた歌やダンスを見かける中での感想としては、あまり魅力を感じなかった。そういうものであることは重々承知ではあるが、あまりショーなどの良さを理解できない私にとってはどこに行ってもショーなどをやっている共有スペースは居心地のいいものではなかった。
7. 船内でのショーは綺羅びやかでパフォーマンスのクオリティも高く目を奪われる。また、ダンスショーは、自分が社交ダンスを経験していることもあり、とても興奮する。バンドでは知っている曲が流れるときに特に楽しい。
8. 4Dシアターなど、予想していなかったものがあってとても楽しい経験ができた。寝てしまったために劇を見ることが出来ず、他の人の感想を聞くと行かなかったことを少し後悔した。特に、野菜・果物をカットして絵を描いていたのが気に入った。無料で遊べる（見れる）施設が多かったのがよかった。
9. I attended only one of the shows, the Spanish dance show in the evening. The dancers did a good job, they had nice traditional Spanish customs and they performed well. The entertainers in the swimming pool floor were very active and positive, making all the people exercise and have a good time.
10. とても楽しそうなイベントばかりであったが、二日目のプロダクションショーしか見に行っていない。みんなが楽しそうに踊っている横でお酒を飲めるのはとても気持ちがよかった。友達は経験があったため踊っていて楽しそうだった。自分もやっていたら踊れたし、もっと楽しい時間をその場で楽しむことができたと思う。
11. ショーは2日目の夕方に開催されたものを途中から観賞しました。客席にまでパフォーマンスをしに来てくださりこれを乗船客は追加料金なしでみれるのか！と嬉しく感じた。またショーの練習風景を偶然みれた時があり、普段劇場では感じることはできないワクワクも感じることもできた。
12. ステージの規模とクルーズ船から、期待していた。何を言っているかは全く分からなかったが、演技力や歌唱力に圧倒され、パフォーマンスの高さに感動した。見てよかったし、日本の劇団四季の公演を見に行くのもありだと感じた。また、一つ一つのパフォーマーが手を抜かずに私たちを楽しませてくれていることが、クルーズ船での非日常を味わうことができ、虜になっていくのだろうと感じた。



13. ディナーショーでカルメンを見させていただいて、ショーが始まる前にイタリア語、スペイン語、英語、日本語と説明があったことにはとても驚いた。また、その説明があったからこそとてもわくわくして見ることができた。言語はわからなかったが、ショーというものはそれを感じさせないものがあると感じた。
14. 一日目のSHOWは見ましたが、二日目のSHOWは見なかったのです。一日目のSHOWは面白かったが全部イタリア語か分かりませんが、英語ではない言語ですから内容がわかりませんでした。
15. 一日目の夜は、プレゼンテーションの準備のために、見ることはできなかった。一番印象的だったのは、シアターで見たミュージカルだった。特に、男の人の声がとても響いており、英語ではなかったのに、何を言っているかはさっぱりわからなかったが、見ているだけで楽しめたので良かった。最初の司会者の人もとてもかっこよかった。
16. 館内の劇場ではショーが開催され、愛という、どの人種の人々にも理解できる普遍的なテーマについての演劇を見る事が出来た。そこでの歌手の方の歌声はとても美しく、心に響いてくるものであった。
17. I watched the opera show in the theatre in the second day. It was nice show and I enjoyed it very much. But the language of the show I don't really understand and the story was a bit complicated for me.
18. 複数の場所で生演奏・生歌唱が行われていたことは、クルーズ船ならではの事なのかなと感じた。知らない楽曲が大半だったが、クルーズに浸っていると自然楽しめた。ただ、個人的には聴くのも好きだがそれ以上に自分で歌ったり演奏したりするほうが好きなので、乗船中何回も「カラオケがあれば…」と思った。ショーに関しては、ショー自体が面白かったかは何とも言えないが、写真撮影が可能だったので写真をたくさん撮らせてもらった。
19. 時間帯が合わなくて1回も行けていない。
20. 時間帯が合わなくて1回も行けていない。
21. ショーは2日間参加した。テーマはオペラと大自然で内容も雰囲気も大きく異なっていた。どちらのパフォーマンスも大迫力だったが、私は特に大自然の方が好きである。終始パフォーマンスにヒヤヒヤしながら観ていた。パフォーマンスやショーが終了した際には大きな拍手が沸き、会場全員が一つになったような気がした。
22. 迫力満点でプロの歌や演技を見て聞いて、映像ではなく、リアルに生で聞くこと



の素晴らしさを実感しました。今の時代、スマホやパソコンでいくらでも手軽に見たり聞いたりすることは出来ると思うが、リアルに間近で観ることでしか味わえない空気感などを感じることができ、本当に感動しました。

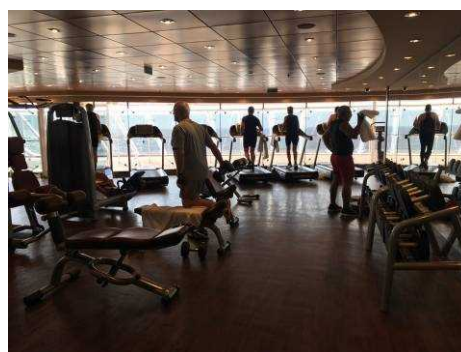
23. 乗船中、二回ショーを鑑賞しました。一日目と二日目で行われるショーは全然内容が異なっていてどちらも有名な劇団が行っているようなクオリティーでした。であるにも関わらず、ショーを鑑賞するのに追加料金がなく驚きました。このように多くの才能を持っている劇団人の人々が船で寝泊まりをしながら公演を行っていることはとてもすごいことだなと思いました。
24. あのようなSHOWは見たことがなかったのでとても面白かった。特に三日目の晩にやっていた「NATURE」というSHOWは鳥肌が止まらなかった。気軽に見に行けて興味を持ったので、本物を見たいという風に思えた。二日目のSHOWも凄いとは感じたが、言葉がわからなかったので「NATURE」に勝る凄さではなかった。
25. 突然フラッシュモブのように始まるダンスショーや、演奏は気持ちを盛り上げてくれる。また4D体験やミュージカルは普段体験できない感覚を味わえ、Instagramに投稿したくなった。バーの近くで歌を歌ってくれる人たちはプロレベルの歌声で感動した。
26. 初日のプロダクションショーは歌劇で少し難しかったのである。2日目はアクロバティックな内容だったこともあり、ドキドキしながら観ることができたのである。両日ともに歌手や踊り手のパフォーマンスには感動し、別途料金を払って観るくらいの内容だったので、これがクルーズ内容に組み込まれていると思うとお得な気持ちにもなったのである。
27. 船内のクルーの方々の熱心な取り組みにより、飽くことなく過ごせた。お客さんを喜ばせたいその精神は各クルー変わらず軸として持っていらっしゃる様子を見て取れた。特にシアターホールで実施されたショーは、船内で鑑賞していることを忘れるほどの白熱した演技で観客を魅了されていた。全てにおいて、この教育の施しようには甚だ感心する他ないという印象であった。

#### (5) 船内体験施設・内容の感想（ジム・ゲームなど）・体験型イベント（ダンスPARTY・ビンゴなど）

1. ジムは船の高層階にあり海を見ながらトレーニングすることが出来た。おいてあるマシンも充実していてとても楽しむことができた。ビンゴはいまいち盛り上がり欠けていて不完全燃焼であった、そのため二日目の開催には参加しなかった。
2. ダンスパーティーも若い人も積極的に参加していて見ていて楽しかった。しかし、ダンスを観客が囲む形で見えていたため、周りのバーカウンターやテーブルからはダンスが見れないので、一部の人しか楽しめないのかなと思った。ビンゴがビン

ゴ1番乗りの人だけでなく10人弱程度の人に景品をあげた方がいいと思う。

3. 4Dのアトラクションに乗ってみたが、ディズニーランドのアトラクション等と同じくらい楽しむことができ非常に満足だった。
4. 正直、カジノにかかりきりだったので全くみていないのでコメントできない。周りの様子をみる限り、満足度はとても高かったようだ。今回は下調べを何もせず行ったためその辺はそもそも、乗船時は行く発想すら浮かばなかったが、次行くときは行ってみてもいいかもしれない。
5. たくさん食べたら運動が必要なのでジムで体を動かして良かった。ビンゴに参加したが3枚セットのビンゴカードを買うのに20ユーロもかかって、ぼったくられたように感じた。また、当たり的人数の枠が3つしかなくて少ないと思った。
6. ビンゴゲームもよくよく期待値を考えると勝ち目のない戦いだったが、つい挑んでしまった。日本のおばさま達が説明を聞かず(理解できず)騒いでおり、同じ日本人として恥ずかしいと感じた。アンケートの意図には反するかもしれませんが、あの経験から他国で失礼なことをするのは控え、日本人代表としてふるまうことを心に決めた。
7. ビンゴは前回行わなかったのでもとてもドキドキする。三つに連なったビンゴカードを同時に使い、一つのカードが25個すべて穴が空けばビンゴである。当たりそうな気がしたが、最初に当たった人たちのみに賞金が配分される方式だったので、ドキドキはすぐ終わり残念である。
8. ショー以外にはカジノにしか行かなかったのだが、人生初カジノであったこともあり、非常に楽しかった。ポーカーとブラックジャックしかほぼやらなかったのだが、全然イカサマをしているようには見えないのに負けまくったのは不思議である(ベーシックストラテジーは守ったのに)。
9. I did not attend any experiential events, so I can't comment on that.
10. ジムは海を見ながら走れるためとても楽しかった。いつもジムに通っているが海を見ながら走ることは初めてであったため、新感覚であった。ジムのところにドアがついていたため外に出れるかと思い楽しみにしていたが外に出ることはできず、残念だった。ダンスパーティーも素敵なダンスが見れてとてもよかった。
11. また、2日目のダンスイベントでは私自身ダンス経験があるため、音楽を聞くと自然とステップを踏んでいた。ダンスフロアも大盛り上がりでもっと広いスペースを設けてもいいのではないかな?と思った。とても楽しかった。ジムは少量多様な設備であった。時間帯もあると思うが、順番待ちすることなく自分のルーティ



ンワークをこなすことができた。ランニングマシーンではまるで海上を走っている感覚になることもあった。

12. 4Dシュミレーターは、船内なのにクオリティが高くてびっくりした。5分は長かったが、楽しめた。卓球とフットサルを体験したことにて、海の上で行う楽しさがあった。汗をかいて、プールで泳ぐというループで半日は過ごすことができると感じた。

13. ビンゴを体験して、一人のみの賞金といったことは、自分が当たるかもしれないという気持ちにさせてくれ、また、ビンゴカードも自分が当たりたいという気持ちがあるなら、少し金額はかかるが、ビンゴカードを増やすことができるという斬新な計画はとてもいいと感じた。またビンゴ始まる前の最初の少し説明が足りないかなというのはあった。



14. 私が好きな船内の施設はダンスの方です。JAZZ PUBというかよく覚えてないが皆さんとダンスしたり、飲んだり、音楽を聴いたりしました。人は少ないが少なくてもいいと思います。夜遅くまでいたし、いい思い出ができました。

15. ゼミの皆とプールやジャグジー、ウォータースライダー、卓球、フットサルなどを楽しんだが、一番楽しんだのはディスコである。お酒が好きなこともあり、ディスコでは飲んで踊るということを繰り返して、約5時間踊った後には、人はほとんどいなくなっていたが、船の中であそこまで踊れてとても楽しかった。朝まで踊っていたが、飽きることはなかった。

16. 私は館内で屋外プールとスポーツ施設、ディスコ、ビンゴ大会などを利用させてもらった。特に感銘を受けたのは屋外に設置されているプールとジャグジーである。今回のクルーズでは幸いな事に連日天候が良好であった為、優雅な時間を過ごすことが出来た。また日本国内では中々体験できないクルーズ内でありながら大海原に囲まれてのプール入浴は格別であった。

17. I watched the dance party and it was a great experience for me. The participants were very funny and they are good in dancing. I hope I can join it next time if I got chance.

18. 船内のジムは海を眺めることが出来、開放感があった。それだけでなく、設備も充実していたので、毎日でも利用したいと思えるものだった。ゲーム関連の施設では、F1シミュレーターを利用したが、運転に慣れる前にコースが終了してしまったのが残念だった。2日目の夜にディスコなどを利用した。こういう場所は自分とは無縁で楽しみにくいと思っていたが、その場の雰囲気とお酒の影響で思いのほ



か楽しかった。ディスコに限らず、昼夜問わずどこかしらで踊ることが出来る環境があったことが、乗船時において一番想定外の学びだった。



19. ジムはスポーツクラブさながらの器具が揃っていたためとても満足した。ビンゴでは日本語が話せるスタッフがしっかりと説明してくれたのでスムーズに楽しむことが出来た、ビンゴの景品が少ないことにはがっかりした記憶がある。
20. ダンスのイベントに参加し思ったことが誰でも楽しめて恥ずかしがることなく出来ると思った。ビンゴでは日本語が話せるスタッフがしっかりと説明してくれたのでスムーズに楽しむことが出来たが少し高いなという印象もある。
21. 友人と全員でお金を出し合ってビンゴゲームに参加した。2日間参加したが、何日参加しても楽しいイベントだと思った。また、ビンゴゲームのルールはすごく変わっていて、全面揃えないとクリアにならなかった。結果的に当たることはできなかったが、先生方や友人と楽しむことが出来た。次回は当てたい。
22. 海を眺めながら行う運動は普段とは全く違い、いつも以上に爽快感を感じることができ。貴重な経験をしたなあと思いました。また、毎日行われるビンゴゲームには夢がいっぱい含まれており、豪華客船らしさを感じる事が出来た瞬間で、いつもとは違う非現実な感じを感じることができました。
23. ジムではタオルが置かれていたり、設備が整っていました。従業員の方もジムを利用しながら働いていました。他にはビンゴ大会にも参加しました。ほとんどの参加者が日本人でした。ビンゴで数字を読み上げるとき8ヶ国語ぐらいを2人で読み上げていたので従業員の方々は多言語を話せる方が多いのだなあと思いました。
24. 海を見ながらジムで運動するのはとても気持ちよかったです。ただ、時間があまりなく短時間しか滞在できず残念だった。ビンゴ大会は、ルールが通常とは異なるので初回参加のときは戸惑ったが、言葉がわからずとも楽しめるイベントだったので面白かった。誰もが楽しめるイベントであったと思う。
25. 個人的に船内のジムにはまり、時間があれば体を鍛えに行った。施設としても素晴らしいものが揃っているし、外には建物ひとつない海一面が広がっており、爽快だった。またムキムキの外国人の横で体を鍛えるのが個人的に楽しかった。体を動かして船酔い等は感じなかった。
26. 海一面の景色を見渡しながらのジョギングは格別でクルーズならではの経験となった。ジムにはグループではなく個人で来ている人が多かったため、簡単な会話程度だが海外の方とコミュニケーションをとることができたのである。後に違う場所でお互い気がつき、簡単な挨拶をできた時は単純に嬉しかったのである。ナイトダンスでは生バンドによる演奏や、皆んなで同じダンスを踊る中での一体感

は、まるで別世界だった。

27. 自分が参加して何か体験出来るようなイベントは有難かった。踊ることが好きな私は率先して体験に参加した。能動的なイベントはディスコナイトしか参加しなかったが、利用者側が参加出来るアクティビティは他にも欲しかった。体験型のイベントを企画しても、旅客のほうが多すぎることでさばききれないのを防ぐのが狙いか。クルーズだからこそ、少ないほうが時間を有意義に過ごすことが出来て良いのかもしれない。

### 第3部 <各港での対応及び魅力>

#### (1) 乗船港(横浜)での感想(港・ターミナルの施設評価、乗船時対応の感想、観光地としての魅力など)

1. 初めての黒ふ頭での乗船であったが、建設途中ということもあり、お手洗いの数など設備面にすこし改善のよちがあると感じた。乗船地としてはみなとみらいの夜景がみえ非常にきれいであるので船の門出にはとてもよいと思う。
2. 黒ふ頭から乗船することを当日大黒橋に着いてから知ったので動揺した。しかし、大黒橋ふ頭だけではなく、たくさんふ頭があるのが港町横浜の強みであることを同時に知った。せつかくきれいな船に乗船するので、バスで移動する道中の工場街もきれいな景観にできれば印象がよくなると思った。
3. 駅からの道案内の標識が丁寧で非常にたどり着きやすかったが、ターミナルからバス移動の時間がかかりすぎだと感じた。また港やターミナルは非常に綺麗で使いやすく、船から降りてきた人には好印象を抱かれるのではないかと感じた。乗船時対応は番号のアナウンスが繰り返し行われていて丁寧だと感じた。観光地の魅力度は高いと感じる。歴史的な港でありそれに関する建造物も多く、また狭い範囲に中華街やショッピングモール等が集まっているため回りやすい。
4. 言語対応もしててまた案内も充実してて特に不満はなかった。寄港回数がとても多いことから、様々な状況に臨機応変に対応できるだろうし、案内をうけていてとても安心感があった。ターミナルもとてもわかりやすく、行くときも特に迷わなかったのがよかった。
5. 港のターミナル内でパソコンを使うときにWi-Fiが通っていてネットに繋ぐことができて良かった。また、手荷物受付やチェックインであまり待たずにスムーズに進むことができて良かった。横浜港はまわりにたくさん有名な観光スポットがあつてとても魅力的な場所だと思う。
6. 仕方ないものではあると思ったが、待ち時間が長かったのが印象的だった。手続きが多く、また対応する窓口が少ないため、自身の経験での空港と比較すると時間がかかった印象。あとなぜか乗船案内前に写真をとられたが、何に使われるのか非常に疑問。
7. 前回と異なり一度バスで別の乗船場に移動だったため、前回と同じだと身構えていた分、一人で勝手にてんやわんやする。また、僕の大学ではキャンセルが一人出たため、その対応で少し手間取る。荷物受取の方は正直対応が冷たく感じられる。
8. ターミナルの施設はとても広く、清潔であったのがよかった。しかし、乗船時の各種手続きについては説明もあまりなく、ただ指示通りに動くだけであったので、

自分のようにクルーズに初めて乗る客がいることも考えたうえでそういった説明はもう少しすべきであると思う。

9. The facilities at the Yokohama port are nice to visit. The first building where we waited for everyone to come had a beautiful architecture. As a sightseeing spot, it is worth noting that looking at a Ferris wheel, all the terminal buildings and big ships it is a nice place to visit. At the boarding time everything ran smoothly and on time, every crew member was organized and there did not seem to be any problems although so many people were boarding the ship.
10. 初めての乗船だったため、船のチェックインも荷物預けも流れるまま終わった印象だった。また、乗船港は長い坂を上がらないといけないため、キャリーケースがある身分としては苦痛でしかなかった。乗船港からバスに乗るのなら、なぜそこを荷物預けの場所にしているのかもよくわからなかった。
11. 横浜港はオシャレなお店が多いイメージで実際訪れてもイメージ通りであった。港・ターミナルは長居しなかったのがキレイなターミナルで港を眺めることができるという印象しかない。横浜港は日本のkawaiiをもっと発信できるのではないかなと思う。そうすれば外国人が消費行動に出やすい気がする。
12. 異空間に来たような素敵な港であった。映画で見るような海の上に浮かぶ港であり、バスまでの誘導がスムーズで、慣れているのだなと感じた。ベイブリッジが見えるというのが素敵で、横浜港にしかない魅力だと思った。
13. 横浜港のいいところは、ターミナルでのしっかりとした案内であった。それは、ターミナルに着いたときにそれぞれに声をかけるといったことがなされている点は、観光地として、港として観光客に対し、配慮がしっかりとなされていると感じた。また出発の際のパレードは、横浜港としての魅力が出ていたと感じた。
14. 乗船港(横浜)については、駅から乗船港まで道は分かりやすかったのです。しかし、バスなどを見て駅から乗船港までバスがあれば良いだと思います。乗船港(横浜)は大きくて良かったが、そこの辺に店やコンビニなどがあれば良いと思います。
15. 客船寄港数日本一の港は、個性的なデザインでアクセスも良かった。乗船前の税関のところではジュースを配っていたので、とても良いサービスだと思った。また、ターミナルは誰でも無料で入場することができ、屋上広場は24時間オープンしているようなので、海外からの旅行客からも人気があると思った。港から見える海の景色はそこで働く人でもつい仕事を忘れて写真を撮ってしまうほどのものだった。
16. 乗船港は横浜の大さん橋であった。大さん橋にはくじらの背中という国際客船ターミナルの屋上が存在しており、そこから見える広大な海は開放的な気分になる事

が出来た。施設内にはレストランや休憩所があり快適な待ち時間を過ごすことが出来た。普段出かける際の目的地としても十分に成り立つ港の為充実した施設が整っていた。

17. The Yokohama port waiting hall can add more facilities such as restaurants and cafe in order to provide services to people who waiting their cruise. The view is really amazing but the hall is quite empty and we need to walk very far to outside to get a coffee while we were waiting.

18. 自宅から客船ターミナルの移動については、アクセスも悪くなく「さすが横浜」だと感じた。しかし、クルーズ乗船客向けに駅から客船ターミナルを結ぶ送迎バスが出ていたらしく、それを利用できれば良かったと思う。そのバスが横浜駅発着なら尚のことそっちのほうの方がよかった。客船ターミナルから乗船までの流れについては、船の大きさの問題で客船ターミナルから別の埠頭まで移動を余儀なくされたが、客船ターミナルで荷物を預けてからバスの移動だったので、あまり不便に感じなかった。

19. 日本人が少なくなかなか円滑に進まないと予想していたがそこを人数で補っていたので意外と早く終わった。受付の対応がしっかりしていたので気持ちよく乗船できたが入り口でトラブルが発生して待たされた。

20. 船の乗船は初めてでどのような手続きをするのかあまりわからず心配だったが、すいてる時間に行ったからかもしれないが大人数で受付をしていて意外とスムーズに早く終わった。



21. 初めての横浜で、初めての横浜港だった。港・ターミナル施設は整っていた。受付の際も、乗船の際も丁寧に対応して頂いた。乗船前の受付の際にはジュースが配られたり、笑顔で接して下さるなど、ご親切に対応して頂いた。横浜は観光地ということもあり、修学旅行生などで賑わっていた、時間的に横浜を観光するのは厳しかったが、観光地として栄えていたと思う。

22. バス乗り場までの案内や、荷物タグの案内などが丁寧で、また、ウェルカムジュースなどもあり、サービスがいいなあと思いました。また、大栈橋付近にはショッピングする場所をはじめ、横浜ならではのハヤシライスなどたくさんの観光スポットがあり、乗船客にとってはとても便利なのではないかなあと思いました。

23. ターミナルはとてもきれいで、上階は展望台のようになっていて多くの家族連れがおり、どこから乗船できるのか想像できませんでした。また、スプレンドィダに乗るまでバスで移動した乗船場所は駐車場に仮設でできたような雰囲気観光

地ではないと思います。横浜大棧橋は建物自体がユニークでクルーズに乗らない方でも観光で着る空間であるなど思いました。しかし中に入ると証明が少なく少し暗く感じました。

24. 授業を終えて直接集合場所に向かったのが観光することはできなかったが、赤レンガ倉庫等の観光地が近く、便利だと思った。ベイブリッジがあるため仕方がないが、バスでの移動ではあるが面倒だと感じたし、出港場所に何もなく、見送りが少ないのは少し残念に思った。集合場所の屋上のところで、横浜港を一望できるのは凄く良い場所だと思った。
25. しっかりと親切にご案内して頂いた。同じグループの外国人の留学生たちにも英語を使ってわかりやすく案内しているところに好感を持つことが出来た。横浜港は立地的に恵まれていることもあるが、何ひとつ不自由に感じることにない素晴らしい港で、船に乗らなくてもまた行ってみたいとなった。
26. 周囲を歩いているだけでも海風の自然と都会のビルの風景両方を楽しむことができる素敵な場所である。赤レンガ倉庫内では食事や買い物をすることができるので、初めて横浜を訪れたが、またゆっくり観光しに来たいと思えるような観光地としての魅力があったのである。
27. 横浜から乗船する際、ターミナルの大きさに驚いた（しかし、それ以上に船が大きいことにも驚いた）。乗船時に預け入れした荷物を客室前まで持っていってくれるサービスは素晴らしいと感じた。横浜は港町として発展してきたので、港町らしき風景や探索は可能である。観光地として横浜は既に栄えており、むしろ横浜からどうやって違う場所へ旅客を移動させるかを考えねばならぬと感じた。

## (2) 下船港(上海)での感想(港・ターミナルの施設評価、乗船時対応の感想、観光地としての魅力など)

1. 複数の船が同時にくることもあり、対応などどれも非常に慣れていてスムーズであるといった印象を受けた。観光地としては日本から近いこと、食事が美味しいことなどは非常に魅力的であるが、インターネットの関係が旅行初心者などにはすこし厳しいかと感じた。SimfreeやVPNなどを活用しないとgoogleが使えないことは日本人旅行者にとっては手間がかかると感じた。
2. 中国全般に言えることだが、建物内が暗いことが残念だった。加えて、下船後バスに乗ると道路がデコボコでとても揺れたため気分が悪くなった。上海財形大学との交流については、学生の方が予想以上に喋ってくれて話が盛り上がった。料理もとても美味しく、店に向かう道中でキャンパス内も見学できたので、中国の大学の様子もわかり勉強になった。
3. ターミナルは非常に大きく外から見ると綺麗であったが、広い分どこに行けばいいのかというのがわかりにくかったため標識やアナウンスを増やすと良いと思う

た。乗船時の対応は可もなく不可もなくという感じで特に印象に残っていない。観光地の魅力度としては非常に高いと感じる。理由の1つ目としてメトロが非常に使いやすく外国人でも簡単に目的地につける点。2つ目として3大観光地との場所が近く回りやすいところ。3つ目として治安が非常にいい点である。英語が相乗以上に伝わらないところだけが残念であった。

4. 観光地が充実していて観光に際しても特に飽きなかった。個人的には景色がとても綺麗で流石!GDPが日本を越す国だなあと感じた。滞在期間が一日もなかった割には、満足度は高かった。告ぎ行く機会があったら有名な観光名所をもっとまわってみたい。
5. 船から降りた瞬間、港の大きさに驚いた。一般的な港は海の上にターミナルがあるのに対して上海港は長江という川の上にターミナルがあるということを知って面白いと感じた。入国審査のときに長い列ができていてかなりの時間待たされたので受け付けるレーンの数を増やすべきだと思った。
6. 乗船時と同様に、仕方ないものではあると思いましたが、待ち時間が長かったのが印象的でした。手続きが多く、また対応する窓口が少ないため、自身の経験での空港の審査と比較すると時間がかかった印象です。あと上海の空が非常に濁っていて驚きました。
7. 海外に足を踏み入れるのは、高校の時に一回、前回のクルーズで一回である。なので今回で三度目なのだが、なかなかかなれないものである。中国語が分からないので、ジェスチャーや雰囲気でのコミュニケーションを取る時は特に不安である。
8. 横浜と比べるとやはり清潔感では劣るなどと思った。また、話に聞く通り空気が汚かったが、上海で一泊して観光した際には見どころも多く楽しめた。しかし、メジャーな場所でないと英語表記も何もなく、もちろん英語も通じないためにコミュニケーションでは苦労した。
9. The Shanghai port seemed bigger than the Yokohama port in the sense that the building where you check in looked very like alike to an airport. Because so many people got off the ship at the same time, there was a big line and we had to wait for like an hour to get out of the port facility, but we also did not have any problems doing so. As a sightseeing spot, I would not recommend the Shanghai port, because is so far away from the city and there isn't anything interesting to see there.
10. 下船港では長い行列に並ばなければいけなかった上、なぜこんなにも待たされな



くてはいけなかったのか不明であった。入国審査のところも、あんなに待っているのならば、入国審査員ももっといけばいいのにと率直に思ったのと、港の水は汚く、見れたものではなかった。また、バスまでの乗り口は遠いと感じた。

11. 中国語が大きな声で発音しないと聞き取れないという特性を持っていることであるのであろうが、入国する際に並んでいて中国人従業員の方が欧米の観光客の方に話かけた際に第一声から声が大きかったため少し驚いていらっしやった。その近くにいた私達も少し驚いた。
12. 私は京都舞鶴港を多く見ており、目が京都舞鶴港に慣れていて。上海港は比較対象にならない程の圧倒的な整備とキャパがあり、2隻の接岸ができたり、ターミナルのスタイルなど、かなりのスケールに感動した。日本の港は上海港には勝てないと思ったし、空港のようであった。なぜ日本では空港設備と港湾整備に差が大きいのか不思議である。
13. 乗船時と比べると、少し下船に時間がかかったと感じた。また、ターミナルに関して、クルーズ船が二隻泊まれるのは、ただすごいと感じた。また、上海では、英語が全然通じないことにはとても驚いた。しかし、お土産などは、安く、交通機関、特に電車に関しては、とても安いと感じた。
14. 下船港(上海) も大きいですから、クルーズから歩かないといけなかったのです。人も多かったのです。しかし、歩きながらクルーズも見えるのは良かったのです。日本にいた時はよく見えなかったのですから。
15. 巨大なコンテナターミナルが特徴的だった。観光地として有名な上海で驚いたことは、現地の多くの方が英語を話せなかったことだった。外灘や豫園といった有名な場所では、多くの観光客でにぎわっており、小籠包や麵料理が美味しかった。また、公共交通機関が日本と比べてとても安いことから、様々な場所に行くことができた。
16. 下船したのは上海の港である。そこではまず中国の入口として海外の雰囲気味わう事が出来た。下船し入国審査を行うまでの道のりはガラス張りになっており、乗船してきたクルーズ船との別れを告げるのに加え中国の街並みや空気を味わう事が出来るいい空間であった。
17. This was my third times visit to Shanghai. The imigration service of Shanghai is good and fast queing. I think this is better than the airport imigration.
18. 横浜港での乗船時と異なり、上海港ではターミナルにボーディング・ブリッジが設けられており、上り下りが少なく屋外に出る必要が無かった点について、便利だなと感じた。出国審査については国際空港と同じ要領だった。観光地・上海の印象は、空気が綺麗じゃないことと、相乗り交通機関(バス・地下鉄)が利用しにくいことがマイナスに感じた。上海の夜景を期待し外灘を訪れたが、あそこまで空気が霞んでいるとは思わなかった。また、空気の影響からか目がシバシバし



たり、クシャミが出やすくなった。マスクを持参したほうが良いと思う。バスや地下鉄に関しては、思った以上に所要時間がかかることに驚いた。タクシーは日本より安い、ぼったくりなど信用性に関して不安がある。

19. 思ったよりターミナルがきれいであった、だが入国審査員の態度が最悪だったために気分を害した。もっと受付の数を増やした方が円滑に進むため2つだけというのはあり得ないと感じた、時間ももったいないと感じた。

20. 海外に行った経験が今回で2回目でありわからないが、上海港ですごく待ったなという印象である。そして一番感じたのは空気の汚さだ。しかしその分夜になると空気が気にならないのでとてもきれいだった。



21. 個人的には、日本（横浜）の港の方が好印象である。理由としては、港やターミナルで働いている従業員の対応である。クルーズに乗船する中で「おもてなし」の大切さを知ることができた。しかし、下船港の従業員にはそのような「おもてなし」がなかったのではないかと思う。せつかく環境が整っているのだから、「おもてなし」を大切にしてほしい。

22. 滞在時間が少なかったため、港付近の観光地等は分からなかったが、非常に綺麗な下船港だと思いました。下船の最後の最後まで見送りをしてくださり接客が丁寧だと感じました。観光地がすぐ近くにある様子がかげえなかったため、これからの発展が期待出来ると感じました。

23. まだ続けてクルーズに乗る方を優先して入国手続きをしていたので私たちの上海で降りる方は全然列が進まずとても時間がかかりました。下船港は横浜よりはるかに大きく私たちが乗っていた船と同じぐらいの規模の船が同時に港にいて驚きました。周辺には観光地はありませんでしたが、港には多くのバスやタクシーが止まっていて、クルーズから降りた人々はほとんどがすでに目的地を決められているのかなと思いました。

24. 仕方がないと思うが、待ち時間はかなり長かった。施設は十分であると思うが、横浜と比べると古いと感じた。MSCともう一隻クルーズ船が停まっていたので、港の規模は大きそうであった。下船後はバスに向かったため周りの状況があまりわからなかったが、観光するような場所はなさそうだった。

25. 人が多く、中国で待っている客はあまりマナーがあるようには感じられなかったが、入口の税関のスタッフや誘導のスタッフに悪い印象を持つことは一切なかった。ただ中国に初めて行って見たが、少し空気が汚く、あまり快適に観光できる街ではないように感じた。

26. 入国審査にとっても時間がかかった印象である。施設内外も整備されていたのであ

る。また、スケジュール上ターミナルを散策する時間がなかったというのがあるが、横浜港のように徒歩圏内にお土産を購入したり、食事ができる場所がなかったため、上海のターミナル周辺にはまだ観光地としての魅力は感じられなかったのである。

27. 上海での入国審査時に日本語の案内があったのには驚いた。入国審査手続きに時間を要したため、もう少し係員の配備を多くするなどの対応を執ってほしい。クルーの人員を多く割く必要はないと感じた。上海のターミナルは日本のターミナルと異なり、下船場所とターミナルが同じだったので、苦労は無かった。上海のターミナルから市街地に抜けるアクセスが不明瞭なのと、地下鉄が無いことを考慮すると、上海で下船した旅客が市内に遊びに出るとするのはやりにくい様と感じた。今回はバスの手配があったので苦渋しなかったが、一般的にアクセスするなら、上海には分かりやすいサインを掲示してほしい。

## 第4部 <船上講義：スマートクルーズアカデミー>

### (1) 学生提言「姫路港の活性化策について」の感想(各班の発表を聞いての感想)

1. 各班色々な見せ方があり勉強になった。油津は二年前のSCAで寄港したこともあり聞いていて当時をおもいだし楽しかった。予算の制約などは設けずに行った方が真のその土地の魅力を伝えるプランが出来たのではないかと思った。土地によってアピールポイントが違う以上予算なども幅がでてもしかるべきだと思いました。
2. フィードバックでもゲストの方から指摘されていたが、もう少し大学生としての視点、行ったことない土地だからこそその客観視を大事にした方がよかったと思う。これができなかった理由は2つあるとされていて、1つ目が初対面の学生でグループワークをやるとお互い遠慮してしまい、無難な案しか出てこないということが考えられます。2つ目がリーダーが東工大生だと頭が固い人もいるので無難な意見を採用してしまうのかなと思いました。これらを改善することはなかなか難しいと思いますが、先生方からプレゼンの説明の際にもう少し、大学生らしさを強調するのもいいかなと思います。
3. 各班短い時間で準備をしたのによくまとまった発表だなと思って聞いていた。特に寄港地にあまり観光スポットがない場所は本当に頑張ったのだなと思った。発表の仕方を工夫していた班は見ていて面白かった。内容と同じくらいどこに視点をおいてどういう風に聞こえるかを意識することは大事なのだと感じた。
4. プレゼンは他の本は割り当てられた寄港地の魅力をより伝えるべく、どの班もしっかり考えてきていてとても素晴らしい時間になったと思う。対象が外国人でSNS映えがテーマと考えて作りましたが、もっと新規性のある。面白いプレゼンを作ればよかったなあと講評をきいていて思いました。
5. どの班もしっかり案を練って観光プランを考えていて、提案された観光プランで寄港地を観光したいと思える魅力的なプレゼンだった。自治体の方などにたくさん参考になる意見をいただいたので、再びプレゼンをする機会があれば今回の反省点を踏まえて頑張りたいと思う。
6. アプローチが非常に多様で面白かった。また各寄港地についてのプレゼンテーションを聞く中で、自身が旅行をしたような気分になるほど楽しかった。また、プレゼンテーション方法も非常に多様で勉強になった。
7. 提案プランは、制約条件もあり、似たり寄ったりの班も多いが、アプローチに関しては各班で全然異なり、その点は見ごたえがある。また、他大学の方の発表の



姿勢や、聞き取りの姿勢から学びも多く、その点も満足である。

8. 東京工業大学の学生がほとんどのスライドを作成したが、きれいにまとまっていて大変見やすかった。しかし、行ったこともない場所でネットで検索するしかなく、だいたいの班の、特に観光ルートに関する発表はあまり目新しさが無いというか、他との差別化が弱いように思えた（自分の班も含めて）。
9. All groups seemed very well organized and had very good presentation slides. I did not understand the presentations because they were in Japanese, but they seemed well structured and interesting.
10. 各班、私たちの班とは違うまとめ方をされていてとても面白く、斬新なチームもあり見ていてプレゼンのやり方の参考になった。また、私たちの班は自分たちで調べただけであったが、そのほかの班では現地調査をしっかりとしている班もあり、信憑性を持たせている点についてとてもいいと思った。
11. ABC班は普通に誰でも作れるプレゼン内容であったと思う。対して、C班とD班は軸があり説得力のあるプレゼン内容であったという印象である。また、プレゼンの作成にあたりチーム内での交流があったということも感じとれるチームの連携が出来ていたと感じる。また、C班は日本が売り出し中のSAKEを組み込んでいて、よく勉強されているなと感じた。
12. あの短い時間で製作するのは困難ではあったが、皆さん固くて決まりきったモノを提案しているように感じた。また、プレゼンというよりも制作発表のようなPowerPointであり、見るのが困難であった。伝えたいことは分かったが、深くなかったように感じた。プレゼンは中身とともに、発表者も大切になると実感した。しかし、皆さんレベルが高く、私はまだまだ頑張る必要があると感じた。
13. 様々な提言があり、地域に特化した製品、食事等を含んだ提案がそれぞれのグループであったと感じた。その中で、自分たちもそうでしたが、今あるのを提案するのではなく、学生目線であり、斬新な提案ができたのではないかととても感じた。もっとその地域しかできないことを考えるべきであったと思った。
14. 学生提言(各班の発表)を聞いて様々なことを勉強しました。様々な船港のことも、日本のところも知ってきました。皆さんの発表が良くて、聞く方の私が勉強になりました。良い活動だと思います。
15. プレゼンテーションテーマが決まって、あまり日数がない中にもかかわらず、どの班もしっかりと調べられていて、それぞれの班のツアーに行きたいと思った。特に、東京工業大学の方々がリーダーとしてグループを引っ張っておられたことがよくわかった。他のグループの良かった点は、ぜひ今後のプレゼンテーションに活かしていきたいと思った。
16. 私たちのグループ以外での話を聞いて感じた事はデータのリソースやアイデアの組み込み方がしっかりとしており、かつそのアイデアがとても現実味を帯びつつ

実際の政策で活かせるなと感じた。私の所属する大学内でのプレゼンテーションなどは言わば慣れすぎていた為、他大学の学生たちのプレゼンテーション作成に際しての過程を拝見できたのはとても刺激になった。

17. The students from other universities are very good in doing ppt and presentation. This made me feel very exciting and I learned a lot from them.

18. 全体的な印象としては、ほとんどのグループが似たり寄ったりの発表内容だったと思う。その港、その地域にあるリソースをただ活用するだけでは、寄港地としての誘致は難しいだろうし、そのリソースをより魅力的に感じさせる工夫をもっと出来れば、より面白い発表になったと思う。その観点で言えば、佐世保港のチームの発表は非常に面白かった。戦争遺構という一味違った着眼点だけでなく、現地の詳しい人からの助言があったことで、発表内容の魅力が確かなものであると感じさせたところは、とても関心させられた。



19. どのグループも完成度が高く短時間でなおかつ顔合わせをしていないなかでの発表のクオリティではなかったそれだけ中心として頑張っていた東京工業大学の生徒が優秀であることをひしひしと感じた。

20. どのグループも完成度が高く、短時間で一度も事前顔合わせをしていない中での発表のクオリティとは思えなかった。そのグループごとに様々な工夫がされていて、見ていて楽しかった。特に優勝チームのプレゼンは実際に現地の人とコンタクトをとったりと斬新で魅力的だった。

21. 各班ごとにプランのこだわりや工夫がされており、聞いていてとても楽しかった。グループごとに個性が出ているなと感じた。中には誰も思いつかないような発想のグループもあり、圧倒された。自治体やクラブに直接問い合わせをしていたりと、私が今後このようなグループワークをする中で活用できそうなことも沢山あったため、いい部分を吸収出来たらなと思う。

22. どのチームもそうであるが、特に敦賀港のチームはコンセプトが非常に明確で聞いていてわかりやすかったです。どのチームもSNSの活用に重点をおいているのはいいと感じたが、投稿の頻度が高いや、人気など、抽象的な部分も多いと感じました。何件以上の投稿が多いと仮定するなど明確な指標があるともっと分かりやすいものになると思いました。

23. 各班で注目をしている点が異なっていたり、調査をしっかりとしていたり、インタビューを行っている班がいたり、聞いていて自分では思いつかなかった提案をされていてとても学ぶことがたくさんありました。また、各地域の港について

の傾向や有名な観光地などを詳しく知る機会にもなり一度訪れてみたいなと思いました。

24. この学生提言に参加するまで知らない港の名前があった。これに参加したことで寄港地の魅力を知った。チームにより提案内容が大きく異なっており、聞いて面白かった。他のチームで現地の方に連絡を取っているところがあった。自分には思いつかないツアーだったので興味がわいた。実際にそのツアーがあれば参加したいと思った。
25. みなさんプレゼンテーションが上手で、自分の意見をはっきりと提言しているように感じられた。特に東京工業大学の学生さんたちが、自分から積極的にグループをまとめ、まとめた意見を発表していて、素晴らしいと思った。ただもっと面白い今までにないような学生の意見を発表しないと自治体の人には響かないと感じた。
26. 分析までは順調に取り組めていたが、最後の提案の部分において、地域の独自性をアピールするには少し不十分なプレゼン内容に少なからず自分の班はなっていたのではないかと思うのである。いざ自分が上海に到着し、観光客の立場となった時に感じた、どこに行こう、何を食べよう、何か特別なお土産を買おうといった疑問を充実した観光プランに変えて提案できるような観光客の立場に立った立案ができていなかったのである。そのためにも日本人でも楽しめるような王道パターンを提案するのではなく、国民性を意識したり、もっと細かくターゲットを絞って考えるべきだったたのである。
27. 実際に観光協会等に連絡をしたという班があったが、それは素晴らしいと感じた。我々の班はデータから考えられることをプレゼン資料に盛り込んだが、私の担当はその部分だけであり、プランの提案が出来なかったのは少し悔しい。この点では、他の班が寄港データをあまり扱っておらず、内容の裏付けに欠ける様な印象だった。提言については、どの班も明確なプランを提案していたが、5港のうち3港は私がすでに行ったことがある場所だったので、ありきたりな提案に聞こえ、薄く感じた（ゲスト黒石さんが「面白さが足りない」と仰っていたのはこれに帰する）。

## (2) クルーズ活性化会議プレゼン・パネル討論の感想

1. さまざまなフェーズの港湾のお話を聞くことがあできて非常に勉強になりました。地元の横浜には大のクルーズ船が来ているという認識でしたがその乗客の多くが東京に行っているということを伺い多く来ているから全て良いというものでもないのだなということを感じました。
2. 時間も内容もちょうどよかった。ただし、スクリーンが小さいこともありスライドの字がほとんど読めなかった。おそらくどこの船でもスクリーンの大きさに限

界があると思うので、事前に自治体の方にも大きめの字でスライドを作るように頼むか、手元資料を準備してもらうようにするとより活発な議論ができると思う。

3. 正直な感想は時間が短かった、もっと聞きたいと思った。また今回のクルーズ・アカデミーは準備期間が短かったため用意されていたデータが少ないのは仕方がないのだが、もっとデータを見たいと思った。横浜港主催でクルーズ活性化の会議が開かれていると聞いて各港が客を奪い合うのではなく日本全体としてクルーズ船の誘致に取り組んでいくという姿勢は素晴らしいと感じた。
4. 一回くらい質問をしたかったのですが、思い浮かばなくてあっという間に終わってしまったというのが正直なところでした。参加したのかと言われると、微妙な所ではありますが、どの寄港地もそれぞれ課題があってそれに全力で取り組んでいることがわかってよかったです。
5. 創成期・成長期・成熟期と異なる段階にある様々な港がそれぞれどのような課題を抱えているのかに関して、自分で調べた範囲では分からず港湾関係者の話を聞いて初めて知ったことがたくさんあって新鮮で興味深く感じた。
6. リアルな実情を耳にすることで、自身が考えていた問題よりも非常に多くの問題や考慮すべき事情があることに驚いた。何をすべきかを考える際に、予算を意識しながら考えていたことがなかった為、実務と学生の考えの違いを1つ学んだ。
7. まず自分としての反省点だが、港湾の規模や地理的特性関係なく質問できる内容のみ思い浮かんでしまい、質問することに対して足踏みしてしまう。その点に関してはとりあえず質問すればよかったと後悔する。前回のクルーズの経験もあり、港湾の方のプレゼン内容の理解度は前より高く、とても聞きごたえがある。
8. やはり学生の発表とは違い、大変分かりやすい話ではあった。問題点というのはどこも似たようなものが多いのだなと思った。しかし、現場の人だからこそ、もう少し踏み込んだ話というのも聞きたかった。あともう少し時間があつた方がいろいろなことも話せる・聞けるのではないかと思った。
9. The panel discussion was a very interesting part of the cruise ship because we could listen to the experts on each port speak about their fields. Insights about the problems and difficulties faced by both small and big ports were presented, showing us a complete picture of the port industry in Japan. I could realize how ports face big problems like a big logistic complexity when so many people arrive at ports at the same time. Another major problem seems to make tourists more attracted to the ports' home city attractions. Yokohama



faces the big problem tourists want to go directly to Tokyo and they do not spend time in Yokohama.

10. プレゼンでは、いろいろな寄港のための策やこれまでの試行錯誤してどのように船を盛り上げていったのかなどの過程を知れて面白い内容だった。またパネル討論では、その前にやっていたプレゼンでほとんど回答済みであった質問もあったため、聞く必要ある質問なのか疑問に思った。
11. 寄港地代表の方々がアカデミー生に向き合ってくれているのを感じることができたり、寄港地についての熱意や売り出しかたの懸念について話してくださるのを聞いて、私には何ができるのでしょうか。と感じ、考えながら皆さんのお話を聞くことができた。
12. 各港湾で日本では大きな横浜港には横浜港にしかない課題があったり、それぞれ課題が似ているようで若干違うのだと感じた。それぞれの港湾の事情を聞いて、クルーズ船で訪問した観光客にその地でお金を落とさせようとやっているけど、うまいこといかないと思った。課題は難しく、港湾局の方々は大変だと感じた。
13. それぞれの港で抱える問題、また利点というのが違い、その中で、他との違いをどのように出せるかというのが重要だと思った。この地域でしかできない等を盛り込んだことを考えていく、また、自治体だけで問題を解決していくのではなく、地域と密着した、地域全体で取り組んでいくべきではないかと思った。
14. クルーズ活性化会議プレゼン・パネル討論もとても良かったです。日本のことをあまり知らない外国人として、様々なことを勉強になりました。私の日本語の問題で分からない部分もあったが、先生が翻訳してくれたおかげでプレゼンを面白く見えました。
15. 話を聞くまでは知らなかった港もあったが、聞いているうちに、誘致のために様々な努力をされていることを知り、機会があれば訪れたいと思った。また、寄港数が多い港であっても何らかの課題があったり、将来の展望があったので、これからの港のあり方にとっても興味を持った。外国船の誘致のために、行っている取り組みを聞いて、厳しい世界だとも思った。
16. 私が推測できる範疇を越えて、当事者意識を持ち政策に取り組んでおられる為リアリティが違うと感じた。又学生の考え方とは事なり、現実を理解し様々な状況を踏まえた上でのご意見や活動内容が聞けた事に、自分は当事者意識が欠如しているなとも感じた。
17. The port in Japan still got a lot of improvement and I think these problem can be solve in the future with their effort.
18. 観光政策の中で、クルーズ活性化について取り上げられる機会は非常に少ないと思うので、知らないことをたくさん学べた。特に、横浜・神戸などの国内主要の港だけでなく、油津・浜田などの地方の港もクルーズ船の寄港を受け入れている



- ことを初めて知り、驚いた。クルーズについて元々知っていたことが少な過ぎただけに、予備知識をしっかりと叩き込んでからアカデミーや活性化会議に臨みかけたし、クルーズ先進国である欧米の寄港地についても調べておけば良かった。
19. それぞれの自治体の話を聞いて感じたことは入港量を増やそうとゆう試みが感じられた。しかし横浜港だけが量の悩みではなく新しい国からの新規の入港を期待している感じがした。大人のプレゼンテーションは学生のプレゼンテーションより明らかに質が違うことが分かった。
  20. 自治体ごとに様々な課題があってその課題解決に向けて本気でと取り組んでいるんだと感じた。一つの目線だけで考えるのではなくあらゆる角度から自分たちの港を見ていると思った。実際の問題、課題に向き合う大人のプレゼンを見れていい経験だった。
  21. 各自治体が抱えている課題を理解することが出来た。自治体により異なった特徴があり、その特徴にあった工夫が凝らされていた。特に寄港数が多い横浜港では寄港数を多くするために様々なことにチャレンジし、様々な問題を解決してきたとお聞きした。クルーズ活性化について、沢山のことを知ることができた貴重な機会だった。
  22. プレゼンを聞くまでは私の勝手なイメージで、地方の港と海外の港が繋がっているイメージなど全然なかったことなど、自分が全く知らないことを知ることが出来ました。また、港によって問題点がばらばらで、そのなかでもいろいろな取り組みをされていることを知れて勉強になりました。クルーズと言えばインバウンドのイメージも強かったが、博多港に関してはアウトバウンドにも注力していることなど、興味深いことも多くありました。
  23. 自分が知らないだけであって、日本にはクルーズを誘致したり、港の改善への取組が行われていることを初めて知りました。これからラグビーワールドカップや東京オリンピックの開催で外国人観光客が増えるとされている中でどれだけ各地域でお金を落としてもらえるのか、利用される方を増やすためにはどうしたらいいのかなど課題は多くありますが、港が栄えたら私たち学生にもクルーズを利用できるのではないのかと思います、将来が楽しみだなと思いました。
  24. クルーズ船の寄港地として成熟した港、発展途上の港、寄港地として誕生したばかりの港と幅広くお話を伺うことができた。それぞれの港で実施していることに大きな差があり、考え方にも大きな違いがあった。同じ質問に全港が答えてくださったので比較ができ、それぞれの特徴を捉えることができた。
  25. やはり私たちが考えているような討論はすでに何万回とされており、その先の議論をされているように感じた。今をよくするだけでなく、中長期的に考えて、その街を良くするためにはどうしたら良いかをとことん追求されていて、自分たちのプレゼンが少し恥ずかしくなってしまった。

26. ある程度成熟している港でも混雑や他の港への中国人観光客の流入などの問題を抱えており、国内でトップの寄港回数でも、アジア規模で考えるとまだまだ誘致していかなければならない立場であるとのお話が興味深かったのである。それぞれの港湾地域の抱えるソフトとハード面の課題が異なる中で、限りある資源を有効利用しながら独自性を見出すのはとても難しいことである。中でも成長期の港の抱える人手不足の問題が一時的なインフラ整備よりも解決しにくい問題なのではないかと思ったのである。
27. クルーズを活性化する目的が地域の創生や人の活発化につながるというゴールが分かったのは終わりが近づいて来たころであった。クルーズ自体を活性化することも目的であることに重ねて、地域を（どうにかして）活発化させることについての理解・関心は深まった。各地方自治体の悩みや、学生が提案できそうなことを総合的に勘案すると、観光産業の一つとしてクルーズを位置づけることができそうな印象を抱いた。「クルーズ」自体がかなり高尚なものであるというイメージは捨てきれず、もっと庶民的に、普通の旅行の選択肢の一案としてクルーズを考えてもらう取り組みも必要である。

### (3) スマートクルーズアカデミー内容全般について(学生提言大会、自治体との交流会、フォーマルナイト、夜の交流会など)についての感想と今後の要望

1. 多様な人といろいろな形で交流することが出来て非常に楽しかったです。今後の要望としては、学生が社会人の方と接する機会はかなり少なくSCAIはとてもいい機会であると思っているのでグループをわけるなどして学生と社会人の方がより接することが出来るイベント（座談会など）があると良いと思いました。
2. ディナータイムではなるべく色んな方とお話できるように工夫されていた気がしてよかった。お陰で他大の学生や自治体の方と色々お話ができました。今回は赤井先生がいなかったということもあり、全体としての企画が少なかった気がします。フットサルやショーなどをもっとみんなで楽しみたかったです。
3. 学生提言大会はもう少し時間が長いと議論ができて良かったのではないかと思います。場所の確保は非常に大変だと思うので、ランチの時間等に意見を聞けるような環境（この日のランチの話題はプレゼンについてです等がスケジュールに組み込まれてる）と良いのではないかと思います。自治体関係者との交流は非常に有意義であった。クルーズについての話題の他にも大人がひたむきに頑張っている話を聞き励まされた。フェアウェルパーティーは開始時間に遅れてくる学生の姿が目立ったので船の上ではスケジュールを守るという原則を周知させると良いと思う。フォーマルナイトはクルーズに乗っているという実感が湧くので、これからも自主的に作ってほしい。

4. 企画全般について、最終的にはうまく行ってよかったものの、もう少し情報を早めに出してほしいというのがあった、集合場所や集合時間もパンフレットをみても、大まかにしか書いておらず具体性に欠けていた。しかしながら、異例の時期もクルーズでもあったし、その割にはうまくいったと思う。なんちゃってフォーマルナイトも楽しかった。
5. 飛行機や新幹線で観光地へ行ったときの観光プランを考えたことはあったが、クルーズでの寄港地を中心とする観光プランを考えたことはなかったので、新しい視点から観光について考えることができ、ためになる課題発表だった。
6. 自治体の方々にワークのお題が伝わっていなかったことは困惑した。(1万円という予算の件など)なぜ1万円という予算にしたのか、寄港地としてはお金は多く使われるほどいいため、あえて低めの予算を設定した意図などが分からず、より課題の意図を理解できる問題であればより学びの多いものになったのではないかと感じた。
7. 写真撮影のロケーションは階段の上ということで良かったが、他の乗船客の迷惑になったようにも感じられ、その点に関しては配慮が足りなかったように感じる。学生提言退会に関しては、もう少し準備期間がある方が望ましいと感じる。
8. 今回は事情もあったと思うが、もう少し準備期間が欲しかった。食事時にはいろいろな話を聞くことができたが、それ以外だと名札を下げていなかったこともあり、班員・食事を一緒にとった人以外だと少し話しにくさもあった。また、写真撮影はもう少し周りの客のことも考えて撮るべきであった。
9. The trip was so well organized and so fun that I do not have any recommendations about improving it.
10. 普段考えないことについて考えることができ、知識の幅は増えたと思う。また、発表でもいろいろな人の意見が聞けたため、とてもよかったと思った。自治体関係者との交流やフェアウェルパーティーに関しては参加していないため感想はありません。
11. 勝手にフォーマルナイトはスクールアカデミーのみんながいたからこそ楽しむことができたと思う。みんなの正装は私服とのギャップがあり、皆さん可愛いしカッコ良かった。スクールアカデミー企画ではプレゼングループ内の交流が多く他のメンバーと話しにくいこともあったが、フォーマルナイトでは正装することで気分もあがりみんなが積極的に交流を行っているのを見てとることもできた。
12. 他大学生と協力して何かを作り上げたり、院生や上回生と関わることはめったにない機会であり、よくしようとしているものに実際に乗っている場であったため、



とても不思議な感覚で関係者の方々もいて贅沢であった。期待するなら、せっかくの機会であるため、早い段階で友達がつくれる場である。しかし、共に同じ大学から行く子がいれば問題ない。

13. 全く顔も名前も知らない人たちと、プレゼンを作る、発表するというのをさせていただいて、自分の力のなさ、勉強不足を感じました。また、こういう機会がないと自治体関係者や他大学生と交流できなかったと思う。自治体関係者の方々の貴重なお話しをお聞きできてよかったと思う。そして、この企画自体を運営、支えてくださっている自治体関係者、教員の方々に感謝で、これから社会に出ていく身としていい経験をさせていただいて、この経験を通して、自分としても自己啓発や他の人たちと一つの物を作り上げることを生かしていきたいと思う。
14. スマートクルーズアカデミーに参加してとても良かったです。勉強にもなり、友達と楽しい思い出も作れるのですから。他大学の学生も知ってきました。一緒にプレゼンをして、意見交換しました。フェアウェルパーティーも良かったです。皆さんと最後の活動ですので。
15. 初めて会う人たちが多く中、短期間で仲良くなることができたのは良かった。フェアウェルパーティーで、自分のゼミの友人が表彰されたりしているのを見ていて、とても嬉しい気持ちになった。勝手にフォーマルナイトでは、階段で写真を撮れて良かった。ディナーでは、自治体の方々ともお話しする機会を設けていただき、普段聞けないことも聞けて良かった。
16. 感想としましてはとにかく多様な学生たちが集い研鑽や活動を行う為、とても良い刺激を得られたと感じた。今後の要望としては大きく二点あり、一つ目にもう少しプレゼンテーション作成に要する時間を確保できる十分な余裕が欲しいなど感じた。又これは自分自身の行動力の無さが要因でもあるが、もう少し厳格に無理にでもクルーズに参加した人々が交流できるイベントがあると良いなど思った。
17. The exchange meeting is very great to share with each others especially with local government officers and students from other universities, the farewell party time period can be longer so we can have more time to enjoy and knowing each others.
18. プレゼンに関しては、不完全燃焼で終わってしまったと思っている。準備時間を十分に作れなかったこと、多角的に課題に向き合えなかったこと、チームの他のメンバーと上手く連携出来なかったことが、不本意に終わった理由だと考える。もし私が来春で卒業しないのであれば、次回アカデミーではグループリーダーとして参加して、グループワークをマネジメントしたかった。参加出来ない代わりとして幾つか改善策を提案させて頂きたい。①準備期間を今回より長く設けるとともに、中間報告などを通して先生方に進捗状況を確認してもらったりフィードバックを頂く機会を設ける。②なるべく大学対抗でチームを組織し、連携を取

りやすい環境で開催する。③SWOT分析、3Cなどのマーケティングのフレームワークを活用する。

19. ただでさえ時間がない中でプレゼンテーションをやっているのだから、意見するときはもう少し考えてから発言してほしいと感じた。せっかくスーツを着ているのなら食事だけではなく全員で参加できるような企画もあっていいと感じた。
20. 全体的にプレゼン以外に全員で参加するイベントが少なかった気がする。ディナーの時間で多くの人と話すことが出来たが、話すだけでなく一緒に遊んだりといったようなイベントがもう少しあっていいような気がした。フォーマルナイトはともいいと思った。普段とは違う格好して接していると特別な感じがしてよかった。
21. 様々な大学の方と交流すること、また、自治体の方やゲストの方と関わることは少ないため、今回お話ししたり、活動したりと貴重な経験が出来たと感じている。フォーマルナイトでは、賞が発表され、自治体の方から景品を頂いた。頑張った良かったと改めて感じた。
22. フェアウェルパーティーに関しては、クルーズらしい非日常的で豪華な体験をすることが出来たので非常に満足しています。プレゼンに関しましては質問時間がもう少し長いとより学べる部分も多かったのではないかと感じました。しかし、食事の時など、自治体関係者とたくさん交流ができたことは非常に貴重な経験をさせていただいたなあと思っています。
23. 学生提言大会では、集まることができずSNSのやり取りだけでパワーポイントを作成し、クルーズに乗る前に提出だったので、とても作成することが難しかったです。私たちの自由時間があり、クルーズで様々な体験をすることができましたが、自治体の方との交流があまりできなかったなと思いました。
24. 成人式の同窓会に参加しておらず、さらに結婚式にも行ったことがないので、正装するのが初めてで楽しかった。学生提言の賞品では自治体のグッズを貰えてうれしかった。自治体関係者の方とは普通関わることがないのでお話しできて楽しかった。はじめましての人との交流は緊張するが、貴重な経験となったことに間違いはない。
25. 参加メンバーの決定、プレゼンテーションのテーマ・概要の決定、どのような自治体の方が参加されるのか等の決定をもっと早めに決められていれば、もっと深いところでの討論・プレゼンテーションができるのではないのかと感じた。フォーマルナイトはもっとがっつりとフォーマルで行なってみたかった。



26. 普段機会がない限り会うことができない方々と話をすることができたので、とても新鮮な気持ちで四日間を過ごせたのである。自治体関係者との交流では、会議プレゼンでは発表できない、各港が持っているそれぞれに対する対抗心であったり、クルーズ会社へのプレゼン営業の苦労話など、裏のお話も聞くことができたのである。
27. 学生が何か地方自治体の方に提案出来る機会はそう多くないし、ましてやその地方自治体の方と直接交流を持てる機会はかつて無かった。フォーマルな場で登場するのも、就活以降であったし、それは楽しかった。船内のドレスコードとしてもフォーマルは似合っていた。企画全体を通じ、各大学の学生の方と仲良くなれたのは良かった。こういう経験を通じて、今後の自分の後輩がクルーズへ参加する際のサポートになればと思う。

## 第5部 <地域活性化・クルーズ振興>

### (1) 地域活性化のためのクルーズ客船誘致と港湾の役割(港湾関係者の発表や船内での関係者との議論を踏まえて)についての感想(国・自治体政策のあり方など)

1. クルーズ客船誘致は地域活性化に繋がると感じた。しかし、誘致合戦になって各港湾が疲弊する所まで行ってしまうと問題なので、もし過度な誘致合戦が起こるようであれば、国が重点港湾などの制度を用いてある程度の選別を行う必要があるだろう。頑張って誘致に取り組む各港湾の事を考えると残酷な話かもしれないが、残酷な話だからこそ国がリーダーシップを取って動かないと誘致合戦は終わらないと思われる。また過度な誘致合戦を引き起こさないためにも日本全体としてのクルーズ船の需要増加ということも必要であると考え。この際には国が旗を振り中心となり振興を行うことが重要であると考え。
2. クルーズは普段観光客の来ない場所に大勢の観光客をいっきに運べる活気的な手段だと思います。しかし、そこでいかにお金を落としてもらえるかが難しいということを知った。船内で映画を上映している場合もあるので、その映画を寄港地に関する映画(例えば、これから行く寄港地が舞台の映画)を上映してみるのも面白いのではないかと思う。
3. 港湾関係者の方が、ターゲットの客層の行動について話してくださったのが興味深かった。お金をいかに落としてもらうかというのが1番重要であると話していただき、まさにその通りだと思った。響きの良い言葉を並べるのは簡単かもしれないが、それを具体的に収益プランに落とし込んでいくのは地道な作業であると思う。
4. どの寄港地も魅力が似たり寄ったりだと改めて感じた。クルーズ乗船客はクルーズの設備目当てで来ていると感じた。どれだけ、その寄港地の独自性、意外性を見せつけてファンを増やすかが重要だと思った。正直クルーズ観光のための対策はコストセンターになるので少ない費用でより効率的なサービスを提供していくことが重要だと思った。
5. クルーズ船を誘致することで、クルーズ船で寄港地に来た人が食事やお土産のためにお金を消費したり寄港地の人にクルーズ船に乗りたいと思わせたりして経済が活性化されることが期待できるので、クルーズ船の誘致はとても社会的意義の高いことなのだと分かった。
6. 現在のクルーズは非常にターゲット層に偏りが生じていると感じている。また、



クルーズ客のニーズと観光客のニーズがイコールではないと感じた為、そういった観点も持ちながら寄港地の発展を考えるべきであると感じた。

7. クルーズ客船誘致に関しては、プレゼン資料を作る際に感じたが、地理的に有利不利が大きくあるので、開き直り、まず日本を楽しめるような催しやツアーを組む方が、外国人・外国船の需要は高まるように感じる。
8. 狭い日本という国で多くの港湾があることを考えると、クルーズ客船誘致のためにはやはり他との差別化・オンリーワンであることが重要であるとする。そしてクルーズの誘致があまり進んでいないところは、誘致が成功している港湾（国内外問わず）にアドバイスを求めたり、スタッフの獲得を考えるべきである。
9. With many big ports getting bigger and allowing bigger ships to arrive in them, many ports may have to focus on the logistics of organizing many passengers arriving simultaneously in the city and looking for tours and sightseeing spots in the city. In my opinion, the cruise industry is a key component to allow the port industry to develop itself more because the tourists help the hometown economy and that gives regional governments incentives for developing their ports further.
10. 自治体の寄港に携わっている人は、みんなが乗船してもらえるようにいろいろな工夫がされていて、自分自身船は初めてだった上、乗船に対しての抵抗もあったため無知ではあったが、これからは自治体の人々が船をどのように盛り上げているのかを注目していきたいと思った。
11. クルーズ乗船者に欧米人が多いのかアジア圏が多いのかによって、マーケットをわけたり変えたりする必要は出てくる。寄港地はやはり、その地域を知ってもらいリピートしてもらうための観光資源ばかり探しがちであるが、その地域のもつ雰囲気や環境(田舎であればお散歩コースを観光プランとして売り出すとか)を今一度なんなのかを知る必要があると思う。地域で生まれ育った人物よりも遠く離れた地域の住民からみたら気づけなかった部分が見えるのかもしれないと思う。
12. 物流とクルーズ振興を同じ港で行っていると、気象等による突然のクルーズ船訪問の際に対応できない。また、物流が順調であり、物流を抑えてまでもクルーズ誘致はしなくてもいいとはならないし、個別で港が分担されていれば問題はないが、その両立が難しいと感じた。また、クルーズ観光客が寄港した港でお金を落とすとは限らず、多くの観光客が一気に訪問する起爆時かもしれないが、地域にお金は落ちず楽しんでもらえなければ、いいことをしただけである。あと、上海港という物流世界1位の大きな港がある日本の九州の港湾は有利だと思う。逆側の東北や日本海側の地域が同じ土俵で戦えないし、近隣の日本の港湾が競い合うのか、協力して誘致をするのか難しいところである。港湾がチームとして何かを提案するか、新しい航路を開拓して海路を盛り上げていかないといけない。



13. 地域活性化として、港を持っている自治体だけでなく、港を持っていない自治体として、関係を深めていくべきだと考える。それは、これまでであったものではなく、これからの新しいものに取り組むといった既存を強めていくのではなく、新しいものと既存のものを結びつけてく。そうしたことから、他とは違う差別化が図れるのではないかと思う。
14. 現在、飛行機で旅行するには人気になりましたが、逆にクルーズで旅行する人は少なくなります。しかし、クルーズにいた時私は思い出しました。海の environmental awareness(環境意識)と人とのコミュニケーション (face to face communication) を気をつけてきました。
15. クルーズ客船誘致のために、それぞれの港湾関係者の方々が取り組みを行っているということがわかった。元々、クルーズ船に今まで乗ったことがなかったが、今回のクルーズアカデミーを通して、魅力がわかった。港湾の果たす役割を聞いて、自治体として今後はツアーを考えたり、港湾のゆるキャラを作るのも良いと思った。
16. 今回は湾港への外国人誘致の政策、案件についてのトピックであったが、個人としてはもう少し外国人としての目線を重要視するべきであったと感じた。実際に自分が外国人であったら学生たちが企画したプランに行きたいと思えるか、又実際に外国人の方々が外国に行った際に求めるウォンツ等のアンケートデータなどを集積すべきであったと感じる。
17. With the stopping time within the spot to spot can be longer like one night, so the tourist inside cruise can really experience the local spot and foods. If the time period is too short, tourist cannot really enjoy the local services.
18. 観光政策の中でも、クルーズ客船誘致に関する政策は決して優先度が低いと感じる。なぜなら、クルーズ船で入出国する人は多くないからである。加えて、日本におけるクルーズ船の認知度は先進国の中でも低いと思われる。そうなれば、クルーズ船関連の政策に活用できる人員も予算もかなり限られる。そのような厳しい制約条件の中で、単独の自治体で出来ることはかなり限られる。私が思うに、自治体間の協力だけでなく、国レベルでクルーズ客船誘致に本腰を入れないと、大きな成果を得ることは難しいと思う。
19. 具体的にどういうことを自治体の皆様がやっているのか詳しく知りたかった。クルーズ船は高いイメージがある中でお客様にどうしたら乗ってもらえるのかを考



- える必要があると感じてしまった。イメージを変えることから始める必要がある。
20. 具体的にどういうことを自治体の皆様がやっているのか詳しく知りたかった。学生とのお互いに意見を交換するディスカッションなどあってもよかったかと思う。行ったことのない地域だと港湾のイメージをするのが難しい。
  21. 各港でそれぞれ、問題点があり、それに対して様々な工夫が施されていた。クルーズ客船誘致であったり、乗船客を増加させるためには、それぞれの港をライバルだと考えるのではなく、情報や問題点、工夫点を共有しWINWINの関係で協力することが大切なのではないかと思った。
  22. まずはもっとクルーズの良さを知ってもらうこと、また気軽に乗船できる機会などがあるといいのかなあと感じました。クルーズ船と港湾の役割に関しては、雰囲気やコンセプトを一致させて一体感を感じさせる必要があると思いました。また、人材・予算不足も大きなネックになっていると感じたので、クルーズ船はまだまだ伸びしろがある分野だと思うので、そのあたりの増加も大切だと感じました。
  23. クルーズ船を誘致することで地域活性化できる可能性は大きいということが分かりました。しかし自治体の予算のだけでは港・ターミナルの改装やイベントをすることが難しいことも知りました。しかし、横浜港の方がボランティアで出港するクルーズのお見送りをしていることなど聞いて、地元の方々や学生が協力をして盛り上げていくことができるのではないのかと思いました。
  24. 湾岸では日本らしさを感じれる、また地方の魅力を感じれるツアーを企画しなければならない。多くの外国籍の方は、自国では感じることでできない文化を感じるに日本、または他国にクルーズ船に乗って比較などをしながら旅を楽しんでいるのだと思う。日本を都会化させていくのは便利でいいが、クルーズ乗客のニーズに応えるものを作るべきである。
  25. クルーズ船の誘致数を増やす！だけではなくその自治体・市町村全体として観光客を増やすためにはどうすべきか考えていく必要があると思った。日本の少子化が進んでいる以上、もっとインバウンドでの収益を増やしていく工夫・政策を、各自治体の方や国が協力して進めていくべく議論する場所をもっと増やして、意見を還元していくべきだと思った。
  26. 偏りが生じないようにうまくバランスをとる重要性を感じたのである。地域のサービス業にも大きな影響を与えるクルーズ客船だが、シーズンの面から年中港



湾を利用しているわけではないので、クルーズ船誘致だけだと一定期間的なインバウンド効果になってしまうのである。そのため以前通り資材搬入としての使用用途とのバランスをうまく取らなくてはいけない点が難しい点の一つでもあるように感じたのである。各地域で客船誘致と資材搬入をうまく組み合わせて取り組むよりも、国として一括統括して偏りを正す、協力し合えるようになるとより良い活性化になるのではと思ったのである。

27. 国や地方自治体が取り組もうとしていることは机上の空論にしか聞こえなかったし、自治体の方の積極性も感じなかった。それらは現実性に欠けていて、実地で調べられたようなものでは無いように感じ取れる。それを現実味を帯びたものにするには、その場の空気感や観光客目線を重視しなければいけない。港湾管理者こそが旅客として当該湾を訪れ、現実を見るべきであると感じた。

## (2) クルーズの社会的意義とクルーズ振興の在り方(ニーズの掘り起こしむけての若い世代からの視点)

1. 海に囲まれた島国である日本にとっては、数多くある港湾を観光資源として生かす事が出来るクルーズ船を呼び込む事は意義のある事だと思う。もし日本人、とりわけ若者の乗客を増やしたいのであれば、食費・交通費・宿代全て加味した上での他交通手段によるプランとの料金比較などを提示しクルーズ旅行が決して雲の上の存在ではない事を認知させる必要があると感じる。さらなる需要の拡大にはクルーズ旅行そのものの物珍しさによるプレミア感を捨てなければならないフェーズであると思う。
2. クルーズはナイトプールやインスタ映えの延長にあり、若い人たちが憧れるコンテンツだと思っています。だからこそ少し手を差し伸べるだけで爆発的に広がる気がします。美容系のインフルエンサーをクルーズに招待して、紹介してもらうだけでも効果があると思います。
3. 港湾(または国)にとってのクルーズの社会的意義は港湾地区の活性化、具体的には客に良い体験をしてもらい、お金を落としてもらい、リピーターになってもらうことである。そのためには視点を客に合わせる事が重要であると思う。またそれを知ってもらうことが必要だと思う。例を何個かあげさせていただく。自治体のHPに目的ごとの観光プランを載せる。informationセンターを港湾近くにも作る。日本のクルーズ寄港地ガイドのHPを作ったり、本を出版する。
4. クルーズは金持ちの道楽だというのが正直、我々一般市民の認識だと思われる。それをいかに払拭して客層を広げていくかが需要だと思う。かかる費用が高過ぎるというのが大きな理由ではあるが、そもそもクルーズ自体に対してに認知度が向上しなければ、乗ってくれるものも乗ってくれない。歩み寄りには止めてはいけない。

5. 旅行に行くときは飛行機や新幹線で行くのが自分みたいな若い世代にとっては主流でありクルーズはあまり認知されていないので、例えば大学生に対してクルーズをPRするならば生協を通してクルーズで旅行することの魅力をもっと理解してもらうようにしていくべきだと思う。
6. 若い世代の視点としては圧倒的な問題は電波のない状況。今回の4日間電波がないことは長い期間だったのかもしれないが、少なくとも学生や連絡を途絶えさせられない社会人層にとってそもそも電波が途絶える点から選択肢に入らない気がしている。その点に対処することをまず、今後のクルーズ課題の1つとすべきと感じた。
7. クルーズ振興の在り方は、異文化交流を短期間で濃密に出来ることをフォーカスすると、若年層でも参加したくなるように感じる。ただし、やはりクルーズ体験するには若年層にとっては安くない値段なので、スマート・クルーズ・アカデミーのようなシステムがもっとあれば良いと感じる。
8. クルーズは長期間の旅であるということもあり、やはり富裕層向けの娯楽である。そういった層に狙いを定めるのであれば、例えば北海道に旅行に行くのに飛行機ではなくクルーズを使って移動中も楽しんでもらおう、ということも考えられる。逆にもう少し中所得者層（富裕層より少し下）も取り込もうと考えるのならば、例えば横浜港を出て2泊したのちに横浜港に再び戻るように、短期間のプランを用意して、まずクルーズの楽しさというものを知ってもらうことも考えられる（これはクルーズと言っているのか分からないが）
9. The cruise ships are a great place for meeting new people and to socialize with people one travels with because everybody is inside the same infrastructure for long periods of time and they can enjoy the same activities together like dancing, eating, or doing other sports together. With many activities that young people like, for example dancing and drinking, cruise ships are ideal to socialize between them.
10. どうしてもクルーズは目的地に着くまでに時間が長く見える景色も何日間も海と空しかなく途方に暮れる人も多いため、これからも急速に伸び率が上がっていったりすることは少ないのかなと感じた。でも、若い人たちはほかの人ができないことをできることに特別感を感じる人も結構いると思うので、クルーズに乗ることによっての特別感を出していくことで乗船率は上がるのではないかと感じた。
11. 一昔前のアイドルは異次元な存在だと思われることで人気が出ていたが、今は身近なアイドルであることが人気になる秘訣でもある。このようにクルーズも親しみやすい環境であることを国民に働きかけなければいけない。一方で旅行では常に“非日常”であることも消費者から求められる。アイドルで例えるならば、コンサートで同じ空間にいるけれど肉眼ではみにくい等のもどかしさ、「見えそうで

ハッキリみえない」は消費者の行動を煽るものになると考えられる。これになぞらえてクルーズ船もこの要素をとり入れることができればクルーズの魅力に気づくことができる人が増えると思う。ハッキリみなければ近くの席を高額を払ってでも確保したいと考える。

12. 海の上で生活する感動を伝えてほしい。乗らなければわからないし、クルーズ船に乗ることが高いと思う人がほとんどであるから、身近に感じてもらえるような提案が必要である。乗りたい人は乗るし、海路なら、飛行機と比較して船を選ぶような勝てるものがない気がする。クルーズとなると高級なイメージが強く、観光や移動にしても選択肢から外す。もう、クルーズ船という名前をやめてしまえばいいとなると問題か。



13. クルーズの社会的意義として、クルーズとしての旅行という意識を強めていくべきだと考える。飛行機で行くことが主流になっていること、また、年配、裕福な方が乗るイメージが強いのが今の現状である。それを変えていくためには、やはり体験することにあると考える。日本クルーズ企業と連携して、格安とは言わないが、それぐらいの体験を1泊2日のようなプラン作りを作っていく。そうしたことによって、一度乗ってみようかと思いつ人はいると考える。そういう人をリピーター化し、これまでの意識を払しょくしていくとよいのではないかと考える。
14. 現在environmental awarenessとface to face communicationの問題が増えています。特に若い者たちはenvironmental awarenessとface to face communicationがないのです。その点でクルーズ振興の在り方にすれば良いかなと思います。
15. クルーズの社会的意義は、非日常的な生活を送ることができることにあります。普段の生活の中で、海をぼんやりと眺めたり、好きな時間に好きなだけ食べたり、様々なバックグラウンドを持つ人と交流するような余裕はあまりない。クルーズ船の中では、プールやカジノ、ディスコと娯楽施設が集まっており、忙しい毎日を忘れられる環境が整っている。今後のニーズ拡大に向けては、クルーズ船に乗った人の口コミ（Facebook等）を最大限に利用すると同時に、広告を駅構内等とするのも良いと考える。
16. クルーズの社会的意義としてはまず大前提である交通媒体である事に加え、非日常の空間に在る事が出来る憩いだと感じた。ここで一つ例を挙げたいのがディズニーランドである。あそこはどうして今現在のような業績を上げ、人々の注目的になるのかを考えた際に出てくる事として”非日常的幻想空間”である事が挙

げられると考える。普段の生活からかけ離れた広大で開放的になれる場所であるクルーズでもより非日常的幻想空間としての雰囲気を作り出すことが出来れば、広い効果が見込められ、又結果としてクルーズ復興に繋がるのかと考える。

17. I think government of Japan or the cruise organiser should promote more about the cruise tour especially to this society. I told my friends about the cruise from Japan to Shanghai and most of them don't really know got this services and where they can register to the cruise tour. Cruise company can promote their services via Japan Travel Agency and also social media.
18. クルーズ船を利用する訪日外国人についてまず詳しく分析しないと、クルーズ復興の課題を理解することは難しいのだと思う。これはあくまで私の仮説であるが、例えば、訪日外国人で行きたい場所、体験したい内容が明確に決まっているような人は、クルーズ船は利用せず、速達性に優れた飛行機で入出国し、訪問先の近くにある宿泊施設に泊まる。なぜなら、そのほうが滞在時間が長くなり、その土地での観光をより楽しめるからである。そう考えると、クルーズ船を利用する訪日外国人は、クルージングの一環として日本に「立ち寄る」と考える人が多いのかもしれない。つまり、旅程における「日本」の比重はあまり大きくないことになる。だとすると、クルーズの訪日外国人が寄港地に求められるものは、ディープな日本の経験よりもお手軽に日本を感じられる経験だと思う。
19. 学生の立場からすると学生生活に一度いけばいい方という考えがあった。だが時間があればいけない金額ではないことをもっと社会に広めることが必要なこと。学生にこそどんどんクルーズ船に乗って世界を旅してほしいと感じた。
20. 今回はアカデミーの活動があったので学生でも単なる遊びの旅行ではないということ。クルーズ自体は学生の立場からすると一生に一度いけばいいという考えがあった。だが時間があれば学生でも行けない金額ではないことをもっと社会に広めることが必要だ。
21. 自治体の方だけではなく、今回のアカデミーのような若者を巻き込むことが大切だと思った。私自身、今まで旅行にクルーズという考えはなかったが、今回の経験を通して、もう一度行きたい、必ず卒業旅行に来ようと思った。経験したことを他の人に共有することで、その人も行きたいという気持ちになり、そういう思いが沢山の人へ広がっていくのではないかと思った。
22. 私が考えるクルーズ復興の在り方は、地方の良さを知ってもらい、地方の港の価値を最大化にしていくことだと思います。なんでも都会に集まり、ますます地域格差を広げていると感じる日本の観光業を、いい意味で覆し、そして新たな人気観光地を生み出す先駆けになる存在がクルーズ復興ではないかなあと私は考えます。

23. 日本ではクルーズは生活に裕福で年代層の高いイメージが大きい。私が思うには、あまり宣伝や広告を観ることがないのもあり、内陸地に住んでいる人はなおさらクルーズ船を知る機会が少ないと思う。クルーズ船は周りが海しかないという状況を体験すると同時に何か新しいことを学ぶ機会が多くあると思いました。ゆえに、もう少し手の届きやすい存在になって利用する人が増加すればいいのになと思いました。
24. クルーズは、世間を忘れて楽しめる場所である。そして、乗船客を増やすには若いうちに乗船経験してもらうことが必要。今回乗船して私がまた乗りたいと感じたように、一度経験するとクルーズ船のとりこになると思う。調べるとMSCは一定の年齢まで子供は無料だったので、これをもっと活用すべきである。
25. まず今回クルーズ船に乗ってみて、クルーズは観光客を増やすための手段として間違いなく重要な媒体であるということをもっと強く感じた。その中で自分を含めて若い世代の人々は、クルーズ船の存在自体を知らない人が多く、知っていても高価で手の届かないものだという印象を持っている人が多すぎるように感じる。もっと国・自治体をあげてPRを図り、あの船に乗りたいから旅行に行く、あの街へ行くというような風潮にして行くべく努力して行くべきだと感じた。
26. クルーズの意義として最も大きいと思ったのは気軽に日本、各地域の魅力を感じてもらえることである。飛行機で日本に來日し、観光するとなると、都心部に人が集中してしまうであろう。しかし、最初は知らなかった場所でもクルーズ周遊の寄港地として利用してもらえるとまた違った日本の魅力を世界に発信できるとてもいいきっかけであり、各地の活性化に繋がるのである。今回初めてクルーズ船に乗ってみて、クルーズが身近なものに感じ、周りの友人にも勧めたいと思うようになったのである。まだまだクルーズ船は高級のイメージが強いので、そこをカジュアルで幅広い年齢層に楽しんでもらえる空間であることを伝えていくべきであろう。
27. まだまだ日本で（特に若者には）大衆化されていないクルーズは、伸びしろの余地がある印象である。近年では「ライブ感」「その場でしか味わえないもの」に投資したいと感じる若者が増えているという研究もあるので、ぜひクルーズに参加してほしいと思った。そのためには、クルーズ料金の値下げを検討されたい。それと同時に、日本語への対応も十分に実施されるほか、若者には、情報をもっと仕入れて欲しいとも感じた。クルーズ振興に向けては、各自治体の旅客目線での準備や、旅客の情報収集能力の向上、クルーズ会社の料金体系の見直し、などを求める。

(3) クルーズ全般への感想：将来に向けての感想、上記の項目に該当しなかつ

## た部分への感想など

1. スマートクルーズアカデミーの一員としてクルーズ船に乗船するのは恐らく今回が最後だが、最後のクルーズもしっかりと楽しみ学べたと感じている。来年から社会人になり忙しく時間なども取れるか分からないが、時間ができたときにまたクルーズ船に乗りたいと思う。
2. 私は来年から社会人になるのでなかなかクルーズに行くことは難しいかと思いますが、将来地方創世のプロジェクトに携わりたいと思っており、そのヒントがクルーズにある気がします。なので上司を説得して、将来は会社を代表してまたクルーズアカデミーに参加し、クルーズを楽しみたいと思います。

3. 荷物を軽くした結果、ビーチサンダルやサングラスを持っていかなかったこと。もしあったら気分浸れたと感じた。また夜遅くまで遊ばなかったことは後悔している。将来に向けての感想としては2点あり、1点目はクルーズ寄港地のマーケティング戦略のような課題ははどこの企業に入っても必ずあ



ることなので、客と関わってくる人たちの重要性を卒業する前に真剣に議論できたことへの感謝と社会人になってから決してその視点を忘れないこと。2点目は世の中には様々な人がいて違う価値観を持っていることを意識すること。様々な地域、専攻の学生や港湾の関係者の方々と話して新しい考え方をしり非常にワクワクした。最後に、このような貴重な機会をいただき非常にありがとうございました。自身も若い人に機会をあげられるような人間になりたいと思いました。

4. 今回、一番楽しかった部分でもあり、悔しかった部分は、カジノである。正直言うとかかり負けたので練習して上手くなって、来年乗る機会があったらリベンジしたい。また、予定等を読み違えていて集合場所や時間を勘違いすることが多かったのでそこは次は直したい。カジノに注力しすぎたので次回はショーなどもみてみたい。
5. 2回のクルーズ乗船経験を通じてクルーズの魅力を深く感じる事ができたので、卒業旅行はクルーズで行きたいと思う。カジノで大きく負けてしまったので、またカジノに行く機会があれば今度は勝ちたい。
6. 失敗談としては、カジノに行ったこと。クルーズの最大の問題点として常にカジノと共に移動していること。非常にまじめに答えていますが、私はおそらくカジノが近くにある限り、破産するまで通ってしまう。あくまで個人的な意見であるが、カジノから離れるという唯一の解を選択できないことは非常に困難な課題である。



7. 失敗談としては、前回に比べ船内イベントに参加できない事である。しかし、前回同様全力で楽しんだと思っており、将来完全自費で、クルーズに乗りたいと思う。高校の同級生や大学の部活の同期などを誘い、大人数で行きたいと感じる。
8. 普段交流することのない方たちとの出会いはとても素晴らしく、将来絶対プラスになると思う。同じ学校の方と行動することが多かったので、来年も機会があれば今度はより積極的に他大学の方と行動したい。また、今度はきちんと勉強してから来てカジノで負けた分を取り返したいと思う。
9. In conclusion, the cruise ship was a great experience for us students to socialize, learn about the cruise and port industry around Japan, and also to relax in one complete vacation experience. As a study trip, I think the cruise ship is a good choice because people feel happy and more comfortable in order to think and discuss different subjects in a place with so a relaxed and positive atmosphere.

10. 大きい船だから揺れないと思っていたので。酔い止めをもっていかなかったが、思ったよりも揺れていたため、酔い止めをもっていけばよかったと後悔した。また、船にはコンビニのように気軽に入れるところがなかったので、お菓子など普段から慣れ親しんでいる味の食べ物をもっていけばよかったと思った。



11. このようなアンケートがあることでクルーズ船楽しかっただけの薄っぺらい思い出にならずにすみました。ありがとうございます。アウトプットは刺激的で楽しいけれどやはりインプットとして自分の知識経験をjして自分の考えを文字に起こしたり友達と話し合ったりするといのはとても大切であると感じています。私はインバウンドに興味があり、就職活動でもインバウンドに携われる企業がないかと探しているのですが、このクルーズ船での経験を財産にかえていきたいと思ひます。
12. もっと食べて太ればいいと思った。おなかを下してしまうことが不安で食べることを我慢していたところがあったので。やり残したことは、夜にバーでたくさん飲むことであったため、次は仲間とともに乗船してたくさん飲みたい。また、一人であったため、他大学生と交流して仲良くなろうとも考え、仲良くなっておけばよかったと後悔するところもあるが、一人で行動して自分の時間を過ごせし、先生と散策をしたりしてクルーズ船がおおまかにどういふものか分かつたので、それもよかったと思う。だから、次回はみんなで楽しみたいと思う。

13. 自分自身の反省としては、用意周到過ぎたのか、荷物がとても重かったということ。クルーズでどのように過ごすのかというのが、想像、また勉強不足というがある。もっと他大学生、また自治体関係者とお話しすればよかったと後悔している。こういう勉強不足等の失敗を、今後の将来に向けてしっかりと直していきたいと思う。

14. タイ人の意見としては、最近の人がクルーズに乗らない理由はイメージです。年寄しか乗らないというイメージを持っているから、乗りたくなるかもしてません。未来に向けての感想は、そのイメージを消して、クルーズの中の面白い活動や、クルーズの中しかできないものをクルーズ振興の在り方にすればよいだと思います。



15. クルーズ船の中で過ごした日々は、一生の思い出になった。勉強、アルバイト、寮生活等で忙しい毎日を送っているのに、この三泊四日は心の底からリフレッシュできた。特に、一番思い出に残っているのは、自分のゼミの皆で先生の結婚を祝うことができたことである。クルーズ船の中ならではの雰囲気最大限に生かしてお祝いできて良かった。また、他の大学の学生やゲストの方々とも話すことができて、忘れられない思い出になった。機会があれば、何度でもクルーズ船に乗りたいと思う。

16. 今回のクルーズを通じて学んだことは大きく二点ある。一点目に多様性のある中での交流の機会の重要性だ。普段自分が生活している環境から乖離し新たな交流を通じて様々な刺激を受ける事により、今後自分がどうあるべきか、今後自分が何をすべきか等を自問自答させるトリガーと成り得る為に多様性の中での交流の重要性を学んだ。二点目に豪華客船に乗船できるという機会の有難味である。普段の学生生活ではできないような貴重な体験をさせていただき、又この経験により、今後の自分のあり方についても問い直す事が出来るといった良い事づくしの機会を頂けたことに対する感謝で一杯である。

17. This cruise academy tour gave me a very good experience and I love it very much. Thanks to the organizer and the cruise which provided this chance for us and I hope can join it again in the rest of my life.

18. クルーズ船上で過ごした日々は日常から大きく切り離されており、刺激的なことばかりだった。とある著名人の言葉で、「歳を取ると時間を短く感じるのは、過去に経験したことがあることが多くなるから。だから、人生を若い時と同じよう

に長く過ごしたいなら、新しいことをどんどんしなさい。」というものがある。クルーズ旅行とはまさに非日常的な経験の連続であり、人生を充実させてくれるものだと思う。日常に愛想を尽かしたら、またクルーズの旅に出たい。

19. 私は今回のクルーズ船の旅で人生が少し変わった気がした。普段では感じられない外国人との会話や船の上での生活などディスコやダンスなど外国の文化に触れる機会がたくさんあり日本はなんて閉鎖的な国だろうと少し落胆した部分があり、その一方でもっと外国に足を運んでみたいとも思った。
20. 私は今回のクルーズ船の旅で人生が少し変わった気がした。普段会わない外国人との会話や船の上での生活などディスコやフォーマルナイトなど外国の文化に触れる機会がたくさんあった。これから社会人になったらいつか海外出張もあるだろうもっと外国に行きたいと思った。
21. 今回初クルーズだったが、全体的にすごく満足である。この経験から、卒論のテーマをクルーズについてにしようかと考えるようになり、卒業旅行は絶対にクルーズにしようかと心に決めた。今回は上海までだったが、卒業旅行では地中海、ドバイなどに挑戦したい。また、そのような体験や経験を沢山の人の人に広めたいと思った。
22. 普通の学生では経験できない貴重な経験をさせていただいたなあと思っています。クルーズ船でのカード支払いの方法であるとか、広すぎてどこになにがあるのかなかなか覚えられなかったり、ネット環境がない中での生活等、クルーズ船でしか味わえない日々を過ごさせてもらったなあと感じています。
23. 今まで経験したことのないこと多く体験することができ、船に乗っているときは本当に夢のようでした。もう少し、乗船している海外から来られた方とお話をすればよかったかなと思います。クルーズに初めて乗って、将来は初めの出発点から終点まで乗ってみたいと思いました。また、スプレンドィダだけではなく他にもどのようなクルーズがあるのか興味を持ったのと、お金を貯めてすぐにでも乗れるクルーズ船に乗りたいと思いました。
24. すべてが夢のようで、本当に貴重な経験をした。常に楽しく、また乗りたいと思った。来年も機会があるなら乗りたいし、卒業旅行、就職しても旅行の一手段として検討したい。退職してから結婚した人とのんびりクルーズの出発地から到着地まで乗る旅をすることが私が目標とするクルーズ旅行。
25. やはり自分の中で失敗したなと思うことは、プレゼンテーションでもっとしっかりとリサーチをすることと、外国人留学生とともに英語でやりとりを行い、英語



でプレゼンをすることに囚われすぎて、そっちがメインのプレゼンテーションになってしまったことが終わってみて客観的に分析して行く中で残念でならなかった。私は来年から地方で働き、自治体の人と議論を交わすことも多々出てくると思うので、今回の貴重な経験を少しでも活かせるよう勉強を続け、この経験をもっともっと素晴らしい経験だったと思えるようにこれから歩んでいきたいと思えます。ありがとうございました。

26. 学生のうちにこのような特別な経験ができたことに感謝し、とても嬉しく思うのである。年齢が進むとまた違った楽しみ方ができるのもクルーズの魅力だと思うので、将来は自分でお金を貯めて、ヨーロッパや他の地域にも訪れてみたいと思うようになったのである。
27. 思ったよりも、最初の2日ほどは船酔いに悩まされた。いままで乗った船の中で初めてあれほど酔った。下船後は陸酔いに悩まされ、酔い止めを持参すれば良かったと後悔した。揺れに慣れて以降、船内のアクティビティを十分に楽しむことができ、船内では充実した時間を過ごすことが出来た。プレゼンではあまり思うように能力を発揮できなかったのが残念ではあるが、チームとして作業を進めることを久しぶりに学んだ。船内の情報を事前にもう少し調べた上で、将来また自分はクルーズに乗りたいと思うし、後輩や知人にもそれを勧めたい。自分が一度クルーズの経験が出来たことで、乗船時・下船後の流れや船内の通貨のこと、時差のことなど多くの情報を知ることが出来た。その情報をもとに、自分の周囲の人間には、インターネットで調べて出てくるような情報に加え、実体験を伴う新鮮さのある話を広め、クルーズに興味を持ってもらいたい。